

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|-----------|-----------|
| 施策名 | 協働のまちづくりの推進 | B07-22 | 総括担当 |
| 施策分野 | コミュニティネットワーク | B07 | コミュニティ文化課 |
| 施策の方向性 | 市民活動団体などの市民活動の拠点として(仮称)市民協働支援センターなどを整備し、市民の自主的な活動を支援する。 | 関連課 | |
| | | コミュニティ文化課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価 (事務事業評価シートより)

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-------------------|---|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| (仮称)市民協働支援センターの整備 | 地域活動への市民の参加率 ※ 委員や団体などの構成員などとしての活動の平均参加率 | 指 標 | - | - | - | - | |
| | | 事業進捗 | B | B | B | B | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-------------------|-------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (仮称)市民協働支援センターの整備 | 民間非営利団体に要する経費(一部) | コミュニティ文化課 | 5,294 | 4,604 | 4,577 | 4,577 | 4,577 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

- 平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から答申を受けた。これに基づき、他自治体への情報収集を行った。
- 平成21年9月に開設された市民協働支援センター準備室も平成26年度には相談件数が71件となり、市民協働に関する各種会合、行事等に参加・協力するほか、各種コーディネート、ブログ等による情報発信等を行っており、協働のまちづくりの推進に寄与している。
- (仮称)市民協働支援センターの整備については、市の財政状況や他の計画等との整合性を図りながら、まずは施設ありきではなく、その内容について長期的視点に立った十分な検討を行う必要がある。そのため、市民協働支援センター準備室との協議や他自治体への情報収集を行い、実現に向けて準備している段階である。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 平成21年度から市民協働支援センター準備室を設置し、市民活動団体相互間のコーディネートや各種情報の発信等を行うことで、市民の自主的な活動の支援につながっている。 |
| 26年度評価(B) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | (仮称)市民協働支援センターの整備については、公共施設マネジメントの基本原則に沿って、また、市の財政状況や他の計画等との整合性を図りつつ、市民協働支援センター準備室と連携し、まずは施設ありきではなく、その機能について長期的視点に立った十分な検討を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | |
|------|-------------------|-----------|------------|---|---|-------------------|-----------|--|
| 施策 | 協働のまちづくり推進 | B07-22 | 成果活動指標 | 地域活動への市民の参加率 ※ 委員や団体などの構成員などとしての活動の平均参加率 | 重点プロジェクト | きずなを結ぶまちづくりプロジェクト | | |
| 基本事業 | (仮称)市民協働支援センターの開設 | B07-22059 | 事業概要 | 目的(何のために) | 市民と行政、または市民と市民の出会いと活動を創出するとともに、適正なルールに沿って協働がなされるように行政と市民との間をコーディネートしたり、あらゆる支援を行い、協働そのものを推進していく。 | | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 市民の多様な活動を支援する(仮称)市民協働支援センターについて検討し、整備する。 | | | | |
| 主な事業 | (仮称)市民協働支援センターの整備 | | 関連する法令・計画等 | 第4次小金井市基本構想・前期基本計画 | | 担当課 | コミュニティ文化課 | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|-------------|-------|---|--|--------|---------|---|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 9.9% | 検討 | 5,537 | (仮称)市民協働支援センターのあり方に係る検討 | - | 5,294 | 市民協働のあり方等検討委員会において、(仮称)市民協働支援センターのあり方について検討いただき、平成24年3月に同委員会から答申を受けた。 | - | B | B | ○市民協働支援センターの設置は、場所的問題、財政的問題等から早急な対応は難しいものの市民協働支援センター準備室を設置し、①市民協働・市民活動についての相談、②市民活動団体等と行政の間や市民活動団体相互間の協働のコーディネート、③市民協働に関する各種会合・行事等への参加・協力、④市民活動・市民協働についての情報の収集・発信、⑤市民協働の推進に向けた仕組み等の検討、⑥市民活動団体リストの管理などを行った。 ○経費削減の余地はない |
| 24年度 | 10.4% | 推進 | 4,604 | 平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から受けた答申に基づき、(仮称)市民協働支援センターの機能に係る検討及び先進市の視察等の実施 | - | 4,604 | 平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から受けた答申に基づき、先進市の視察等を行った。 | - | B | B | ○市民協働支援センターの設置は、場所的問題、財政的問題等から早急な対応は難しいものの市民協働支援センター準備室を設置し、①市民協働・市民活動についての相談、②市民活動団体等と行政の間や市民活動団体相互間の協働のコーディネート、③市民協働に関する各種会合・行事等への参加・協力、④市民活動・市民協働についての情報の収集・発信、⑤市民協働の推進に向けた仕組み等の検討、⑥市民活動団体リストの管理などを行った。相談件数は、122件あり一定の効果を出している。 ○経費削減の余地はない |
| 25年度 | 11.0% | ↓ | 4,577 | (仮称)市民協働支援センターの整備に係る検討 | - | 4,577 | 平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から受けた答申に基づき、先進市の視察等を行った。 | - | B | B | ○市民協働支援センターの設置は、場所的問題、財政的問題等から早急な対応は難しいものの市民協働支援センター準備室を設置し、①市民協働・市民活動についての相談、②市民活動団体等と行政の間や市民活動団体相互間の協働のコーディネート、③市民協働に関する各種会合・行事等への参加・協力、④市民活動・市民協働についての情報の収集・発信、⑤市民協働の推進に向けた仕組み等の検討、⑥市民活動団体リストの管理などを行った。相談件数は、93件あり一定の効果を出している。 ○経費削減の余地はない |
| 26年度 | 11.5% | ↓ | 4,577 | (仮称)市民協働支援センターの整備に係る検討 | - | 4,577 | 平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から受けた答申に基づき、他自治体の情報収集を行った。 | - | B | B | ○市民協働支援センターの設置は、場所的問題、財政的問題等から早急な対応は難しいものの市民協働支援センター準備室を設置し、①市民協働・市民活動についての相談、②市民活動団体等と行政の間や市民活動団体相互間の協働のコーディネート、③市民協働に関する各種会合・行事等への参加・協力、④市民活動・市民協働についての情報の収集・発信、⑤市民協働の推進に向けた仕組み等の検討、⑥市民活動団体リストの管理などを行った。相談件数は、71件あり一定の効果を出している。 ○経費削減の余地はない |
| 27年度 | 12.0% | ↓ | 4,577 | (仮称)市民協働支援センターの整備に係る検討 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○課題 現下の厳しい財政状況、小金井市新庁舎建設基本計画等、他の計画等との整合性を十分に踏まえつつ、長期的視点に立って検討していく必要がある。 ○展開 市民協働支援センター準備室は、平成26年度には相談件数が71件となり、市民協働に関する各種会合、行事等に参加・協力するほか、各種コーディネート、ブログ等による情報発信等を行っている。(仮称)市民協働支援センターの整備ができるまでの間、準備室を活用していく。 | | | | | | | | |
| | ○ | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|---------|---------|
| 施策名 | 地域情報ネットワークの推進 | B07-23 | 総括担当 |
| 施策分野 | コミュニティネットワーク | B07 | 情報システム課 |
| 施策の方向性 | 市民活動や様々なイベントなど地域情報を発信するコミュニティポータルサイトにより、市民生活の利便性の向上および市民と市外の方との地域連携の基盤づくりに寄与する。 | 関連課 | |
| | | 情報システム課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|--------------------|------------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| コミュニティポータルサイト拡充の支援 | コミュニティポータルサイトの年間アクセス件数 | 指標 | C | C | C | C | |
| | | 事業進捗 | C | C | C | C | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|--------------------|------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| コミュニティポータルサイト拡充の支援 | — | 情報システム課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

・コミュニティポータルサイトは、市ホームページでは発信できないような情報（イベント情報など）を発信することで、市民生活の利便性の向上および地域連携につながる上で、有効と考える。

一方、ここ数年でソーシャルネットワーキングサービスのような新たな情報発信手段が急速に普及してきており、自治体のホームページ自体をこうしたツールと連携し、イベント情報などを発信するものも見受けられるようになってきた。

このことから、新たにコミュニティポータルサイトを構築するのではなく、市ホームページのリニューアルに合わせて、市ホームページ内に市に関する情報を発信している民間を含めた他団体をリンクすることが可能かなど、新たな方式を検討する。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| C | |
| 26年度評価(C) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 地域からも発信しやすいソーシャル・ネットワーキング・サービスなど情報発信手段が普及してきたことを踏まえ、市ホームページのリニューアルに合わせ、市に関する情報の発信・活用のツールとして構築できるよう新たな方式の早急な検討を要する。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|--------------------|-----------|------------|---|--------------------------|-----------------|
| 施策 | 地域情報ネットワークの推進 | B07-23 | 成果活動指標 | コミュニティポータルサイトの年間アクセス件数 | 重点プロジェクト | まちのにぎわい創出プロジェクト |
| 基本事業 | 地域連携の推進 | B07-23064 | 事業概要 | 目的(何のために) | 市民と市外の方との地域連携の基盤作りに寄与する。 | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 市民活動や様々なイベントなどの地域情報を発信するコミュニティポータルサイトを構築する。 | | |
| 主な事業 | コミュニティポータルサイト拡充の支援 | | 関連する法令・計画等 | なし | 担当課 | 情報システム課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|------|---------|---|--------|---------|---------|-----------|------|-----|---------------------------|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | — | 実施 | 0 | コミュニティポータルサイトの構築 | 0.0% | 0 | 実現できず | C | C | B | コミュニティポータルサイトが立ち上がっていないため |
| 24年度 | 100万件 | 充実 | 0 | 閲覧者にわかりやすく、興味をもたれるサイトを構築し、平成27年度までに年間アクセス数121万件を目指す。 | 0.0% | 0 | 実現できず | C | C | B | コミュニティポータルサイトが立ち上がっていないため |
| 25年度 | 110万件 | ↓ | 0 | 閲覧者にわかりやすく、興味をもたれるサイトを構築し、平成27年度までに年間アクセス数121万件を目指す。 | 0.0% | 0 | 実現できず | C | C | B | コミュニティポータルサイトが立ち上がっていないため |
| 26年度 | 120万件 | ↓ | 0 | 閲覧者にわかりやすく、興味をもたれるサイトを構築し、平成27年度までに年間アクセス数121万件を目指す。 | 0.0% | 0 | 実現できず | C | C | B | コミュニティポータルサイトが立ち上がっていないため |
| 27年度 | — | ↓ | 0 | コミュニティポータルサイトの構築に代わり、市ホームページ内に市に関する情報を発信している民間を含めた他団体をリンクすることが可能かなど、新たな方式を検討する。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○ | <p>展開/課題</p> <p>コミュニティポータルサイトは、市ホームページでは発信できないような情報(イベント情報など)を発信することで、市民生活の利便性の向上および地域連携につながる上で有効と考える。</p> <p>一方、ここ数年でソーシャルネットワーキングサービスのような新たな情報発信手段が急速に普及してきており、自治体のホームページ自体をこうしたツールと連携し、イベント情報などを発信するものも見受けられるようになってきた。</p> <p>このことから、新たにコミュニティポータルサイトを構築するのではなく、市ホームページのリニューアルに合わせて、市ホームページ内に市に関する情報を発信している民間を含めた他団体をリンクすることが可能かなど、新たな方式を検討する。</p> | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|-------|
| 施策名 | 危機管理体制の充実 | B08-24 | 総括担当 |
| 施策分野 | 地域安全 | B08 | 地域安全課 |
| 施策の方向性 | 危機管理体制の充実を図り、各危機事象に対し適切に対応できるように、危機管理の実効性を高める。 | 関連課 | |
| | | 地域安全課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-----------|--------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 危機管理体制の強化 | 新たな危機管理体制の構築 | 指標 | — | — | — | — | |
| | | 事業進捗 | B | B | B | B | |
| | | 効率性 | A | A | A | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-----------|-------------------------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 危機管理体制の強化 | 放射能測定に要する経費 災害対策に要する経費(一部) | 地域安全課 | 0 | 2,438 | 4,028 | 4,050 | 5,772 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

・施策の推進は指標のとおり、概ね順調である。

・事業の一環として実施している給食食材の放射能測定については、市民の関心度が高い「子どもたちの食の安全」を守るためにも、継続的に実施していく必要がある。また、測定結果については、測定実施日にホームページ上に公開しており、市民の放射性物質に対する意識向上に寄与している。

・放射性物質に限らず、新型インフルエンザや米軍機等の墜落も想定した航空機事故、近年局所的に発生している大雨・大雪など、新種の危機に対して、関係機関と連携し、危機管理体制の構築やマニュアル等の策定に取り組んでいる。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するため、新型インフルエンザ、航空機事故、大雨・大雪災害等の危機に対し、危機管理体制の構築やマニュアル等の策定等の早急な対応が必要である。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|--------------|-----------|------------|---|--------------|-------|
| 施策 | 危機管理体制の充実 | B08-24 | 成果活動指標 | 新たな危機管理体制の構築 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 新たな危機管理体制の構築 | B08-24067 | 事業概要 | 目的(何のために) | 危機管理体制の充実のため | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 危機管理体制の充実を図り、各危機事象に対し適切に対応できるよう、危機管理の実効性を高める。 | | |
| 主な事業 | 危機管理体制の強化 | | 関連する法令・計画等 | 新型インフルエンザ条例 | 担当課 | 地域安全課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|-------|--|---|--------|---------|---|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | - | 検討 | 0 | 新種の危機に対応するため、関係機関と連携し全庁体制でマニュアルや計画を策定し、新たな危機管理体制の構築に取り組む。 | - | 0 | ・他市で制定している危機管理指針及び危機管理計画の収集を実施した。 ・東日本大震災に伴う計画停電に関し、全庁的な応援体制での対応を行った。 ・放射能測定等の対応を行った。 | - | B | B | ・情報収集や危機に対応ができた。 |
| 24年度 | - | 実施 | 2,460 | 新種の危機に対応するため、関係機関と連携し全庁体制でマニュアルや計画を策定し、新たな危機管理体制の構築に取り組む。 | - | 2,438 | ・危機管理担当部長を設置するとともに、地域安全課の所掌事務に「危機管理の総合調整に関すること」を加えた。 ・また、小金井市放射能対応に関する危機管理調整会議を設置し、放射性物質の飛散に伴う影響及びその対策について必要な情報を共有し、その対策の検討を行い、実施している。 | - | B | A | ・危機に対応した体制づくりや検討が行えた。 ・緊急雇用創出事業に要する経費として、2名の非常勤嘱託職員を雇用した。 |
| 25年度 | - | 検証 | 4,151 | 新種の危機に対応するため、関係機関と連携し全庁体制でマニュアルや計画を策定し、新たな危機管理体制の構築に取り組む。 | - | 4,028 | ・給食食材の放射能測定の実施を行った。 ・新型インフルエンザ条例及び規則の制定の助言等を行った。 | - | B | A | ・危機に応じた対応ができた。 ・緊急雇用創出事業に要する経費として、2名の非常勤嘱託職員を雇用した。 |
| 26年度 | - | 充実 | 4,146 | 新種の危機に対応するため、関係機関と連携し全庁体制でマニュアルや計画を策定し、新たな危機管理体制の構築に取り組む。 | - | 4,050 | ・測定を行う市内保育園数を増やすなど、給食食材の放射能測定を推進した。 | - | B | A | ・危機に応じた対応ができた。 ・放射能測定に要する経費として、2名の非常勤嘱託職員を雇用した。 |
| 27年度 | 体制構築 | ↓ | 5,772 | 新種の危機に対応するため、関係機関と連携し全庁体制でマニュアルや計画を策定し、新たな危機管理体制の構築に取り組む。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | ○展開 | | | | | | | | |
| | | 改善 | 危機管理体制の強化や対処方針の策定など、平常時からの危機管理の推進、また緊急対策時の対応の取組を行っていく。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | ○課題 | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | 災害等が発生した場合の危機管理の体制づくり。 | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|-------|
| 施策名 | 防災コミュニティづくり | B08-25 | 総括担当 |
| 施策分野 | 地域安全 | B08 | 地域安全課 |
| 施策の方向性 | 市民の防災意識の向上、自主防災組織などの防災体制の強化を図り、防災コミュニティづくりを推進する。 | 関連課 | |
| | | 地域安全課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-----------|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 自主防災組織の育成 | 自主防災組織の数 | 指標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-----------|----------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 自主防災組織の育成 | 災害対策に要する経費(一部) | 地域安全課 | 2,404 | 2,254 | 1,549 | 3,528 | 1,614 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

- ・施策の推進は指標のとおり、概ね順調である。
- ・自主防災組織は市の補助金及び貸与資機材を基に防災訓練等の実施や新たな資機材を購入し、活発に自主防災活動を行っており、組織の連携が深まるとともに住民の更なる自主防災活動への参加促進が期待されることから、今後も事業を継続していく必要がある。
- ・自主防災活動は活発であるものの、活躍する住民の高齢化が進んでいるため、高齢者のみならず地域全体で活動できるようさらなる広報、支援に努める必要がある。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| A | 自主防災組織の数は指標のとおり順調に推移している。自主防災組織については、災害時における「共助」の重要な役割を担うこととなるため、今後も引き続き自主防災組織の育成・支援を図りたい。 |
| 26年度評価(A) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 自主防災組織については、世代を超えた市民が幅広く参加できるよう、これまでの施策の発展的な展開について検討する必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | |
|------|--------------|------------|--------|---------------------------------------|-------------------|-------------------|--|--|
| 施策 | 防災コミュニティづくり | B08-25 | 成果活動指標 | 自主防災組織の数 | 重点プロジェクト | きずなを結ぶまちづくりプロジェクト | | |
| 基本事業 | 自主防災組織の強化・育成 | B08-25069 | 事業概要 | 目的(何のために) | 地域ぐるみによる防災活動体制の確立 | | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 補助金及び防災資機材の貸与並びに自主防災組織に結成に関する広報を行う | | | | |
| 主な事業 | 自主防災組織の育成 | 関連する法令・計画等 | | 小金井市自主防災組織育成指導要綱 小金井市自主防災組織補助金交付要綱 | 担当課 | 地域安全課 | | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|-------------|-------|---|---|--------|---------|---|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 23団体 | 充実 | 2,272 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金(世帯数×100円。初年度は世帯数×150円)の交付及び防災資機材を貸与し、地域における自主防災活動の促進を図るとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行う。 | 25団体 | 2,404 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金の交付及び防災資機材を貸与するとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行った。 | A | A | B | ○本町三丁目町会自主防災会が結成され、25団体となった。 ○自主防災組織が新規に結成された。 ○東日本大震災以降、自主防災組織による防災活動も活発化しており、資機材等の需要も高まる中、補助金の削減は難しい。 |
| 24年度 | 24団体 | ↓ | 2,284 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金(世帯数×100円。初年度は世帯数×150円)の交付及び防災資機材を貸与し、地域における自主防災活動の促進を図るとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行う。 | 26団体 | 2,254 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金を交付するとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行った。 | A | A | B | ○東町一丁目町会防災会が結成され、26団体となった。 ○自主防災組織が新規に結成された。 ○東日本大震災以降、自主防災組織による防災活動も活発化しており、資機材等の需要も高まる中、補助金の削減は難しい。 |
| 25年度 | 25団体 | ↓ | 1,504 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金(世帯数×100円。初年度は世帯数×150円)の交付及び防災資機材を貸与し、地域における自主防災活動の促進を図るとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行う。 | 27団体 | 1,549 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金を交付するとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行った。 | A | A | B | ○弁天通り防災会が結成され、27団体となった。 ○自主防災組織が新規に結成された。 ○東日本大震災以降、自主防災組織による防災活動も活発化しており、資機材等の需要も高まる中、補助金の削減は難しい。 |
| 26年度 | 26団体 | ↓ | 3,619 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金(世帯数×100円。初年度は世帯数×150円)の交付及び防災資機材を貸与し、地域における自主防災活動の促進を図るとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行う。 | 27団体 | 3,528 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金の交付及び防災資機材を貸与するとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行った。 | A | A | B | ○組織結成数は達成されている。 ○新規結成した組織に対し防災資機材を貸与し、活動の活発化を促した。 ○東日本大震災以降、自主防災組織による防災活動も活発化しており、資機材等の需要も高まる中、補助金の削減は難しい。 |
| 27年度 | 28団体 | ↓ | 1,614 | 既存及び新規結成した自主防災組織に対し補助金(世帯数×100円。初年度は世帯数×150円)の交付及び防災資機材を貸与し、地域における自主防災活動の促進を図るとともに、自主防災組織の結成に関し広報活動を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開 平成27年度以降も引き続き事業を展開し、自主防災活動の促進を図るとともに、新規組織の結成を推進する。 ○課題 自主防災組織で活躍する住民の高齢化が進んでいるため、高齢者のみならず地域全体で活動できるようさらなる広報、支援に努める必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|-------|
| 施策名 | 防災機能の強化 | B08-26 | 総括担当 |
| 施策分野 | 地域安全 | B08 | 地域安全課 |
| 施策の方向性 | 防災機能の強化のため、消防団の設備・装備及び災害対策物資・設備の充実を図り、防災活動の拠点となる防災センターを新庁舎の建設と合わせて整備する。 | 関連課 | |
| | | 地域安全課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|--------------|--------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 消防団分団詰所の耐震補強 | 公共施設の耐震化率 | 指 標 | - | - | | | |
| | | 事業進捗 | A | A | | | |
| | | 効率性 | A | A | | | |
| 防災センターの整備 | 市内の年間火災発生件数（5年間平均） | 指 標 | A | C | C | C | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|--------------|----------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 消防団分団詰所の耐震補強 | 消防施設維持管理に要する経費 | 地域安全課 | 788 | 5,513 | 0 | 0 | 0 |
| 防災センターの整備 | 災害対策に要する経費 | 地域安全課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

防災センターの整備については、市の財政状況や他の計画等との整合性を図りながら、その内容について長期的視点に立った十分な検討を行う。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 防災センターの整備については、公共施設マネジメントの基本原則に沿って、また、市の財政状況や他の計画等との整合性を図りつつ、まずは施設ありきではなく、その機能について長期的視点に立った十分な検討を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|-------------|-----------|------------|----------------------------|---|-------|
| 施策 | 防災機能の強化 | B08-26 | 成果活動指標 | 市内の年間火災発生件数(5年間平均) | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 防災センターの整備 | B08-26073 | 事業概要 | 目的(何のために) | 震災などの災害に対して二次災害の防止と被害の軽減を図る災害対策の拠点施設とするため | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 新庁舎建設と併せた防災センターの整備について検討する | | |
| 主な事業 | 防災センターの整備 | | 関連する法令・計画等 | | 担当課 | 地域安全課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|--------------|-------|---|--|--------|---------|-------------------------------------|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 38.8件 | 推進 | 0 | 新庁舎建設と併せて、災害対策の拠点施設となる防災センターの是非について検討する | 38.4件 | 0 | 検討の結果、継続協議とした | A | A | B | ○火災発生件数が減少し、指標を達成した ○引き続き検討を行うこととした ○事業費なし |
| 24年度 | 37.1件 | ↓ | 0 | 新庁舎建設と併せて、災害対策の拠点施設となる防災センターの是非について検討する | 39.4件 | 0 | 検討の結果、継続協議とした | C | A | B | ○火災発生件数が増加し、指標を達成できなかった ○引き続き検討を行うこととした ○事業費なし |
| 25年度 | 35.4件 | ↓ | 0 | 新庁舎建設と併せて、災害対策の拠点施設となる防災センターの是非について検討する | 40.2件 | 0 | 新庁舎建設に防災機能を強化することに伴い防災センターの検討は凍結した。 | C | A | B | ○火災発生件数が増加し、指標を達成できなかった ○検討の結果、整備は行わないこととした ○事業費なし |
| 26年度 | 33.7件 | ↓ | 0 | 新庁舎建設と併せて、災害対策の拠点施設となる防災センターの具体化について検討する | 37.4件 | 0 | 新庁舎建設に防災機能を強化することに伴い防災センターの検討は凍結した。 | C | B | B | ○火災発生件数が減少しているものの、指標を達成できなかった。 ○新庁舎建設に防災機能を強化することに伴い、防災センターの検討を行っていない ○事業費なし |
| 27年度 | 32件 | ↓ | 0 | 新庁舎建設と併せて、災害対策の拠点施設となる防災センターの具体化について検討する | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開/課題 | | | | | | | | |
| | ○ | 現状維持 | 現下の厳しい財政状況、小金井市新庁舎建設基本計画等、他の計画等との整合性を十分に踏まえつつ、長期的視点に立って検討していく必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|-------|
| 施策名 | 防犯体制の強化 | B08-27 | 総括担当 |
| 施策分野 | 地域安全 | B08 | 地域安全課 |
| 施策の方向性 | 市民の防犯意識の向上を図るとともに、地域での見守り活動などを推進し、地域ぐるみの防犯対策を推進する。 | 関連課 | |
| | | 地域安全課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|---------------------|-----------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実 | 刑法犯の認知件数(5年間平均) | 指 標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | A | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|---------------------|------------------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実 | 安全・安心まちづくり対策に要する経費(一部) | 地域安全課 | 142 | 250 | 176 | 102 | 255 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

- ・施策の推進は指標のとおり、概ね順調である。
- ・主な事業である、「こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実」については、事業開始時に運動の周知用に作成した缶バッジ(2万個)の在庫がなくなり、現在配布を行っていないことから、小金井市安全・安心まちづくり協議会において、今後の広報等について、検討を行う予定である。
- ・こがねいし安全・安心あいさつ運動は、あいさつを通して、多くの人が地域に目を向けることにより、子どもたちの安全確保及び地域防犯力の向上が期待できることから、施策の推進に寄与しているといえる。
- ・防犯体制の強化を推進するためには、小金井市防犯指針に基づき、市、市民、事業者、警察等が相互の連携、協働を深め、より効果的・総合的な防犯活動に発展させることが必要である。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| A | 指標である刑法犯の認知件数は毎年減少している。今後も安全・安心に暮らせるまちづくりのために、関係機関と連携をとりながら、安全・安心あいさつ運動を通して地域ぐるみの防犯対策を推進されたい。 |
| 26年度評価(A) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | |
|------|---------------------|-----------|------------|--|--|--------------|--|--|
| 施策 | 防犯体制の強化 | B08-27 | 成果活動指標 | 刑法犯の認知件数(5年間平均) | 重点プロジェクト | 共生社会推進プロジェクト | | |
| 基本事業 | 地域ぐるみの防犯対策の推進 | B08-27075 | 事業概要 | 目的(何のために) | あいさつを通して、多くの人が地域に目を向けることにより、子どもたちの安全確保、地域の防犯力の向上を図る。 | | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 春季・秋季推進月間の実施、標語・ポスターコンクールの開催(3年に1回)、運動参加者への缶バッチの配布 | | | | |
| 主な事業 | こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市防犯指針 | 担当課 | 地域安全課 | | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------------|-------|---|---|--------|---------|--|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 1766.2件 | 充実 | 196 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、運動参加者への缶バッチの配布 | 1,579件 | 142 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間を実施、運動参加者に缶バッチを配布 | A | A | B | ○刑法犯認知件数は減少し、指標を達成している。 ○事業は計画通りに実施できている。 ○事業費については、推進月間ポスターの印刷枚数を、市施設、市立小中学校、商店街等に配布できる必要最小限の枚数に設定しており、削減は難しい。 |
| 24年度 | 1692.2件 | ↓ | 263 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、第2回こがねいし安全・安心あいさつ運動「こきんちゃんあいさつ運動」標語・ポスターコンクールの開催、運動参加者への缶バッチの配布 | 1,479件 | 250 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間を実施、第2回こがねいし安全・安心あいさつ運動「こきんちゃんあいさつ運動」標語・ポスターコンクールを開催、運動参加者に缶バッチを配布 | A | A | B | ○刑法犯認知件数は減少し、指標を達成している。 ○事業は計画通りに実施できている。 ○事業費については、推進月間ポスターの印刷枚数を、市施設、市立小中学校、商店街等に配布できる必要最小限の枚数に設定しており、削減は難しい。 |
| 25年度 | 1618.1件 | ↓ | 212 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、運動参加者への缶バッチの配布 | 1,424件 | 176 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、運動参加者への缶バッチの配布 | A | A | B | ○刑法犯認知件数は減少し、指標を達成している。 ○事業は計画通りに実施できている。 ○事業費については、推進月間ポスターの印刷枚数を、市施設、市立小中学校、商店街等に配布できる必要最小限の枚数に設定しており、削減は難しい。 |
| 26年度 | 1544.1件 | ↓ | 146 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、運動参加者への缶バッチの配布 | 1,317件 | 102 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、運動参加者への缶バッチの配布 | A | A | A | ○刑法犯認知件数は減少し、指標を達成している。 ○事業は計画通りに実施できている。 ○事業費については、推進月間ポスターの印刷費を削減して縮小した。 |
| 27年度 | 1,470件 | ↓ | 255 | こがねいし安全・安心あいさつ運動春季及び秋季推進月間の実施、第3回こがねいし安全・安心あいさつ運動「こきんちゃんあいさつ運動」標語・ポスターコンクールの開催 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開 平成27年度は、春季及び秋季推進月間の実施に加えて、3年に一度の標語・ポスターコンクールを開催し、こがねいし安全・安心あいさつ運動の更なる周知を図る。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | ○課題 こがねいし安全・安心あいさつ運動の周知のために作成した缶バッチ(2万個)の在庫がなくなり、現在配布を行っていないことから、小金井市安全・安心まちづくり協議会において今後の広報について検討を行う。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

※平成23年度から平成25年度までの指標結果に誤りがあったため、修正しました。

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|------|
| 施策名 | 産業振興の計画的推進 | B09-28 | 総括担当 |
| 施策分野 | 創造的産業 | B09 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 大学連携型起業家育成支援施設の活用などによる産業振興を計画的に推進し、ベンチャー・SOHOの支援や産業振興のための産業基盤を整備して、研究開発型の産業、情報・環境・福祉・健康などの成長産業、地域資源をいかしたコミュニティビジネスの育成・誘致を図る。また、商工農業の情報交流・ネットワークの充実を図る。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|---------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 産業振興プランの策定と推進 | 産業振興プランの達成率 | 指標 | — | — | — | A | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|---------------|--------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 産業振興プランの策定と推進 | 緊急雇用創出事業に要する経費(一部) | 経済課 | 0 | 0 | 210 | 12,744 | 0 |
| | 商工振興に要する経費(一部) | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,705 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

| |
|--|
| <p>産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、27年度も引き続き取組を推進していく。</p> <p>また、27年度中には28年度以降の新たな産業振興プランを策定する必要があり、これまでの取組効果をいかに市内に波及させるか、見直しやブラッシュアップを図りながら、ふれあいと活力のあるまちを実現させるための効果的な計画策定を実施していく必要がある。</p> |
|--|

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| A | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、順調に目標を達成できる見込みである。 平成28年度以降の新たな産業振興プランについては、これまでの取組効果を適切に検証し、見直しを行いながら、地方創生も見据えた効果的な計画策定を図られたい。 |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|------------|---------------|------------|-------------|---|-----|
| 施策 | 産業振興の計画的推進 | B09-28 | 成果活動指標 | 産業振興プランの達成率 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 産業振興の計画的推進 | B09-28076 | 事業概要 | 目的(何のために) | ふれあいと活力のあるまちの実現を図るため。 | |
| | 主な事業 | 産業振興プランの策定と推進 | | 実施方法(何をするか) | 第4次基本構想前期基本計画に基づいた産業振興プランを策定し、計画の推進を図る。 | |
| | | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|-------|---|---|--------|---------|--|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | - | 実施 | 0 | ・産業振興プランの取組実施 | - | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 24年度 | - | 推進 | 0 | ・産業振興プランの取組実施 | - | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 25年度 | - | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・平成28年度以降の改訂版策定に向けた準備の実施 | - | 210 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 また、平成28年度以降の産業振興プラン策定に向け、データ収集のための基礎調査を実施した。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 26年度 | - | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・現産業振興プランの進捗率の把握 ・平成28年度以降の改訂版策定に向けた準備の実施 | 93.70% | 12,744 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、進捗率は93.70%だった。平成28年度以降の産業振興プラン策定に向け、データ収集のための基礎調査を実施した。 | A | A | B | ●進捗率は93.70%であり、指標は達成している。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。 ●経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 27年度 | 80.0% | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・現産業振興プランの進捗率の把握 ・平成28年度以降の改訂版策定 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、27年度も引き続き取組を推進していく。 また、27年度中には28年度以降の新たな産業振興プランを策定する必要がある、これまでの取組効果をいかに市内に波及させるか、見直しやブラッシュアップを図りながら、ふれあいと活力のあるまちを実現させるための効果的な計画策定を実施していく必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|------|
| 施策名 | 産業基盤の整備 | B09-29 | 総括担当 |
| 施策分野 | 創造的産業 | B09 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 大学連携型起業家育成支援施設の活用などによる産業振興を計画的に推進し、ベンチャー・SOHOの支援や産業振興のための産業基盤を整備して、研究開発型の産業、情報・環境・福祉・健康などの成長産業、地域資源をいかしたコミュニティビジネスの育成・誘致を図る。また、商工農業の情報交流・ネットワークの充実を図る。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|------------------|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| ベンチャー・SOHO事務所の整備 | 市内の産業振興施設数 | 指標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | B | B | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|------------------|----------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ベンチャー・SOHO事務所の整備 | 商工振興に要する経費(一部) | 経済課 | 0 | 3,287 | 75,834 | 16,365 | 732 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

○平成26年4月1日に東小金井事業創造センターを開設し、市内の産業振興施設は2ヶ所となった。同年8月からは指定管理者による運営を開始し、1年かけて個室・シェアブース(壁で仕切られた専有スペース)は満室となった。利用者や潜在的な起業予定者向けのセミナー、利用者同士の交流会も定期的実施しているところである。

○今後は、潜在的な起業予定者・起業家の発掘によりシェアスペース(フリーアドレスの共有スペース)の利用者増加を図り、引き続き関係団体との連携も図りながら、利用者育成・支援を実施していく。また市内定着に向けての支援についても、しごとのマッチングを行うことで仕事の基盤を整備する等、検討及び実施をしていくことが課題である。

○施設の運営経費については独立採算性であるため(ただし、警備委託費用相当分のみ指定管理委託料として支払っている。)、安定的な運営を行うことも課題となっている。

○事業の施策への貢献度という点については、事業の推進が着実に産業基盤の整備に貢献しているものと考え、今後も引き続き事業継続を図る。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 平成26年4月にベンチャー・SOHO事務所として東小金井事業創造センターが整備され、指標を達成している。併せて指定管理者制度を効果的・効率的に活用し、安定的な運営に努め、さらなる産業振興のための産業基盤の整備を図らねばならない。 |
| 26年度評価(B) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | シェアスペースの利用者増加を図り、関係団体との連携も図りながら利用者育成・支援を実施するとともに、起業者の市内定着に向けての支援についても検討及び実施をしていく必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | |
|------|------------------|-----------|------------|---|--|-----------------|-----|
| 施策 | 産業基盤の整備 | B09-29 | 成果活動指標 | 市内の産業振興施設数 | 重点プロジェクト | まちのにぎわい創出プロジェクト | |
| 基本事業 | ベンチャー・SOHO事務所整備 | B09-29077 | 事業概要 | 目的(何のために) | 研究開発型の産業、情報・環境・福祉・健康などの成長産業、地域資源をいかしたコミュニティビジネスの育成・誘致を図る。商工農業の情報交流・ネットワークの充実を図る。 | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 小規模ながら、ITなどを活用し高い付加価値を生み出すベンチャー企業やSOHO事業者への総合的な支援サービスのシステムづくりを検討する。 | | | |
| 主な事業 | ベンチャー・SOHO事務所の整備 | | 関連する法令・計画等 | | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|------------|-------|---|-------------------------------|--------|---------|--|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 1か所 | 推進 | 0 | 施設整備に向けた検討を行う。 | 1か所 | 0 | 施設整備に向けた検討を行う。 | A | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ●市内の産業振興施設数は1か所である。 ●施設整備に向けた検討を行った。 ●測量、設計が遅れているため、予算執行できなかった。よって、経費削減の余地はなかった。 |
| 24年度 | 1か所 | 整備 | 7,346 | 建築敷地の測量及び実施設計を行い、建築確認済証を取得する。 | 1か所 | 3,287 | 建築敷地の測量及び実施設計を行い、建築確認済証を取得した。 | A | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ●市内の産業振興施設数は1か所である。 ●建築敷地の測量を行い、建築確認済証を取得した。 ●測量、建築確認は定型的な業務であるため、経費削減の余地はない。 |
| 25年度 | 2か所 | ↓ | 60,887 | 事務所を建築する。 | 2か所 | 75,834 | 平成26年4月1日開館を目指し、事務所の建築工事、創業支援サービスのシステム構築及び入居者募集等を実施した。 | A | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ●事務所の建築工事及びシステム構築に取り組み、市内の産業振興施設数は2か所となった。 ●計画どおり、事務所の建築を行った。 ●施設開設に伴う経費は必要な経費であり、経費削減の余地はない。 |
| 26年度 | / | / | 17,592 | 事務所の運営を行う。 | 2か所 | 16,365 | 平成26年4月1日から運営を開始し、同8月1日から指定管理者により利用者募集や起業家育成・各種セミナー等を実施した。 | A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ●東小金井事業創造センターの開設により、市内の産業振興施設数は2か所となっている。 ●計画どおり、施設の開設と運営を図った。 ●施設の運営に当たっては、指定管理者により利用料収入や各種セミナー参加料等で賄う独立採算性を取っている。 |
| 27年度 | / | / | 732 | 事務所の運営を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 平成26年4月1日に東小金井事業創造センターを開設し、市内の産業振興施設は2ヶ所となった。同年8月からは指定管理者による運営を開始し、1年かけて個室・シェアブース(壁で仕切られた専用スペース)は満室となった。利用者や潜在的な起業予定者向けのセミナー、利用者同士の交流会も定期的実施しているところである。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | 今後は、潜在的な起業予定者・起業家の発掘によりシェアスペース(フリーアドレスの共有スペース)の利用者増加を図り、引き続き関係団体との連携も図りながら、利用者育成・支援を実施していく。また市内定着に向けての支援についても、しごとのマッチングを行うことで仕事の基盤を整備する等、検討及び実施をしていくことが課題である。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | 施設の運営経費については独立採算性であるため(ただし、警備委託費用相当分のみ指定管理委託料として支払っている)、安定的な運営を行うことも課題となっており、より充実したサービス提供のためには、一定運営費についても検討する必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 創造的産業の支援 | B09-30 | 総括担当 |
| 施策分野 | 創造的産業 | B09 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 大学連携型起業家育成支援施設の活用などによる産業振興を計画的に推進し、ベンチャー・SOHOの支援や産業振興のための産業基盤を整備し、各種産業やコミュニティビジネスの育成・誘致を図ります。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|--------------------------|------------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助の継続 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者数 | 指 標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|--------------------------|----------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助の継続 | 商工振興に要する経費(一部) | 経済課 | 14,650 | 16,548 | 13,141 | 8,554 | 19,064 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

- ・創造的産業の支援をする上で農工大・多摩小金井ベンチャーポート(以下「VP」という。)家賃補助を実施し、VPへ企業の入居が促進され、施策が推進されていると認識している。
- ・市が指標達成に向けた方向性として、直接的な介入ではなく、補助事業としてVPの入居家賃を助成している。家賃補助率を上げれば入居率の向上につながる可能性は高いが、既に95%以上の入居率であり、補助率は適正な水準であると考え。ただし、企業の事情やインキュベーション施設であるために設けた入居期間の制限により企業の退去は必ず発生するため、入居率を常に100%に保つことはできない。
- ・VPは独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営をしており、同機構は単なる施設の運用に限らず、入居企業の育成に対しても積極的に関与している。市は入居企業への家賃補助のみを行っているが、同機構の努力により入居企業の事業展開を促進するサポートが充実しており、本補助事業は今後とも取り組んでいく必要があると考える。
- ・今後は、卒所後のサポート体制や東小金井事業創造センター「KO-TO」との相乗効果の発揮などの事業展開が求められている。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) 家賃補助を実施することで、VP入居者の数は指標のとおり順調に推移している。 |
| B | |
| 26年度評価(B) | (課題) 市内定着につながりづらい現状では、本補助事業の目的を達しているとは言い難い。VP卒所企業の内定着に向けた事業展開、東小金井事業創造センターとの相乗効果の発揮等が求められる。 |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | |
|------|--------------------------|-----------|------------|--|--|-----------------|-----|--|
| 施策 | 創造的産業の支援 | B09-30 | 成果活動指標 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者数 | 重点プロジェクト | まちのにぎわい創出プロジェクト | | |
| 基本事業 | 起業支援・経営支援 | B09-30079 | 事業概要 | 目的(何のために) | ベンチャー企業を育成し、農工大・多摩小金井ベンチャーポート卒所後も市内で事業を営んでもらうことにより市内の企業を増やす。 | | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 起業時の資金面での支援を図るため、農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助を継続する。 | | | | |
| 主な事業 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助の継続 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | | 担当課 | 経済課 | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|------------|-------|--|-----------------------------------|--------|---------|-------------------|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 14社 | 継続 | 19,064 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート入居企業に対し、家賃補助を行う。 | 19社 | 14,650 | 入居企業に対し、家賃補助を行った。 | A | A | B | ●入居率指標を上回っている。 ●入居企業率が高いため補助金の執行率は高く、事業進捗率は高い。 ●独立行政法人中小企業基盤整備機構が事業主体として高水準の運営をしているため、ベンチャー企業に対する支援としての効率は高い。 |
| 24年度 | 16社 | ↓ | 19,064 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート入居企業に対し、家賃補助を行う。 | 20社 | 16,548 | 入居企業に対し、家賃補助を行った。 | A | A | B | ●入居率指標を上回っている。 ●入居企業率が高いため補助金の執行率は高く、事業進捗率は高い。 ●独立行政法人中小企業基盤整備機構が事業主体として高水準の運営をしているため、ベンチャー企業に対する支援としての効率は高い。 |
| 25年度 | 18社 | ↓ | 19,064 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート入居企業に対し、家賃補助を行う。 | 21社 | 13,141 | 入居企業に対し、家賃補助を行った。 | A | A | B | ●入居率指標を上回っている。 ●入居企業率が高いため補助金の執行率は高く、事業進捗率は高い。 ●独立行政法人中小企業基盤整備機構が事業主体として高水準の運営をしているため、ベンチャー企業に対する支援としての効率は高い。 |
| 26年度 | 20社 | ↓ | 19,064 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート入居企業に対し、家賃補助を行う。 | 21社 | 8,554 | 入居企業に対し、家賃補助を行った。 | A | A | B | ●入居率指標を上回っている。 ●入居企業率が高いが、補助金の交付期間を満了している企業が多く、決算額は減少している。 ●独立行政法人中小企業基盤整備機構が事業主体として高水準の運営をしているため、ベンチャー企業に対する支援としての効率は高い。 |
| 27年度 | 21社 | ↓ | 19,064 | 農工大・多摩小金井ベンチャーポート入居企業に対し、家賃補助を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開 平成26年4月に東小金井事業創造センターが開設したため、両施設の連携など今後の展開が期待できる。 | | | | | | | | |
| | ○ | 現状維持 | 施設開設から5年を経過し、卒所後市内定着した事業所は4事業所(うち1事業所は、東小金井事業創造センター入居)となった。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | ○課題 当事業では、起業家育成施設である農工大・多摩小金井ベンチャーポートの家賃補助を行うことにより卒所後の市内定着企業の増加を目指しているものの、補助金交付期間満了後も農工大・多摩小金井ベンチャーポートに留まる事業所が多数あり、卒所後の市内定着に繋がりがづらい。卒所後のサポート体制が今後の課題となっている。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 商業振興の計画的推進 | B10-31 | 総括担当 |
| 施策分野 | 商業 | B10 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 商業振興モデル地区の設定と展開などにより、商店や商店街を中心に活力とふれあいのあるまちづくりを推進する。 商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図るとともに、市民ニーズに対応した個性ある商店街を目指し、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりによるにぎわいの創出に努める。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|------------|---------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 産業振興プランの推進 | 産業振興プランの達成率(商業振興事業) | 指標 | — | — | — | A | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|------------|---------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 産業振興プランの推進 | 緊急雇用創出事業に要する経費(一部)※ | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 商工振興に要する経費(一部)※ | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

※経費は全て「施策B09-28産業振興の計画的推進、基本事業B09-28076産業振興の計画的推進」に計上

4 一次評価

| |
|--|
| <p>産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、27年度も引き続き取組を推進していく。</p> <p>また、27年度中には28年度以降の新たな産業振興プランを策定する必要があり、これまでの取組効果をいかに市内に波及させるか、見直しやブラッシュアップを図りながら、ふれあいと活力のあるまちを実現させるための効果的な計画策定を実施していく必要がある。</p> |
|--|

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| A | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、順調に目標を達成できる見込みである。 平成28年度以降の新たな産業振興プランについては、これまでの取組効果を適切に検証し、見直しを行いながら、地方創生も見据えた効果的な計画策定を図りたい。 |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|------------|------------|--------|---------------------|---|-----|
| 施策 | 商業振興の計画的推進 | B10-31 | 成果活動指標 | 産業振興プランの達成率(商業振興事業) | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 商業振興の計画的推進 | B10-31082 | 事業概要 | 目的(何のために) | ふれあいと活力のあるまちの実現を図るため。 | |
| | 主な事業 | 産業振興プランの推進 | | 実施方法(何をするか) | 第4次基本構想前期基本計画に基づいた産業振興プランを策定し、計画の推進を図る。 | |
| | | | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | 担当課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|-------|---|---|--------|---------|--|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | - | 実施 | 0 | ・産業振興プランの取組実施 | - | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 24年度 | - | 推進 | 0 | ・産業振興プランの取組実施 | - | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 25年度 | - | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・平成28年度以降の改訂版策定に向けた準備の実施 | - | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しているが、その実施率について、具体的な数値は把握していない。計画の見直し時期に進捗を測ることとする。 また、平成28年度以降の産業振興プラン策定に向け、データ収集のための基礎調査を実施した。 | - | A | B | ●現時点での進捗を把握していないため不明である。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。計画の進捗状況については現時点では測らず、計画の見直し時期に把握する予定である。 ●現時点で進捗状況を把握しておらず、経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 26年度 | - | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・現産業振興プランの進捗率の把握 ・平成28年度以降の改訂版策定に向けた準備の実施 | 100% | 0 | 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、商業部門の推進事業として掲げた取組も着手してきたことから、進捗率は100%だった。 平成28年度以降の産業振興プラン策定に向け、データ収集のための基礎調査を実施した。 | A | A | B | ●商業部門の進捗率は100%であり、指標は達成している。 ●プランに位置づけられた取組について、着実に実施している。 ●経費削減の余地はないため、B評価とする。 |
| 27年度 | 80.0% | ↓ | 0 | ・産業振興プランの取組実施 ・現産業振興プランの進捗率の把握 ・平成28年度以降の改訂版策定 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 産業振興プランに位置づけられた取組を着実に実施しており、27年度も引き続き取組を推進していく。 また、27年度中には28年度以降の新たな産業振興プランを策定する必要がある、これまでの取組効果をいかに市内に波及させるか、見直しやブラッシュアップを図りながら、ふれあいと活力のあるまちを実現させるための効果的な計画策定を実施していく必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

※経費は全て「施策B09-28産業振興の計画的推進、基本事業B09-28076産業振興の計画的推進」に計上

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|------|
| 施策名 | 商業環境の整備 | B10-32 | 総括担当 |
| 施策分野 | 商業 | B10 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 商業振興モデル地区の設定と展開などにより、商店や商店街を中心に活力とふれあいのあるまちづくりを推進する。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|---------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 商店街振興モデル地区の推進 | 小売業の年間商品販売額 | 指標 | — | — | B | B | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | A | A | A | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|---------------|--------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 商店街振興モデル地区の推進 | 緊急雇用創出事業に要する経費(一部) | 経済課 | 3,749 | 9,104 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

・平成24年度までは、市が商業振興モデル地区基本計画を推進する事業を実施していたが、25年度以降は商店街の自主性を尊重し、市としては広報援助をはじめとした必要な後方支援を行っている。計画の推進主体である商店街では、道路を歩行者天国にしてのイベント実施、市民から愛称を募集する等積極的な取組を進めており、活力ある、かつ親しみやすい商店街づくりを進めている。このような商店街の自主的な整備に対し、引き続き必要な支援を実施していきたい。

・事業の成果指標については、目標である681.6億円を若干下回る結果となったが、事業は着実に実施しているため、B評価とした。

・施策の達成のためには、モデル地区で得られた成果や課題を市内商店街で共有し、活用していくことが必要であるが、現状では効果の波及まで踏み込めていないところが課題である。基本は商店街の自主性を尊重しながら、市としては今後も必要な支援を行っていく。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | |
| 26年度評価(B) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 商工会と連携を図りながら、市内の個店や商店街に波及するよう、地域の商店会の自主性を尊重しつつ、適切な支援を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | |
|------------|----------|---------------|-------------|-------------|---|--------------------------------------|--|
| 施策 | 商業環境の整備 | B10-32 | 成果活動指標 | 小売業の年間商品販売額 | 重点プロジェクト | まちなにぎわい創出プロジェクト きずなを結ぶまちづくりプロジェクト | |
| 基本事業 | 商店街の環境整備 | B10-32084 | 事業概要 | 目的(何のために) | 地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりによるにぎわいを創出する。 | | |
| | 主な事業 | 商店街振興モデル地区の推進 | | 実施方法(何をするか) | 市民ニーズを踏まえたにぎわいのある商店街づくりを進めるために、大学や市民などとも協働して、各種施策を重点的に行う商業振興モデル地区を推進する。 | | |
| 関連する法令・計画等 | | | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 | | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------------|--------|--|--|--------|---------|---|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H19 681.6億円 | 検討 | 3,750 | 商業振興モデル地区基本計画を策定する。 | — | 3,749 | 商業振興モデル地区基本計画を策定した。 | — | A | A | ●指標は、5年に一度公表される商業統計調査報告に基づき設定されているが、次回の公表はH24年度時点の調査がH25年度中に公表されることになっているため、現時点での達成率は不明である。 ●商業振興モデル地区基本計画を策定しており、進捗状況は計画通りである。 ●東京都緊急雇用創出事業を活用したため、市財は使用しておらず、効率性は高い。 |
| 24年度 | 681.6億円 | 推進 | 9,398 | 商業振興モデル地区基本計画の推進に係る具体的な事業を実施する。 | — | 9,104 | 交通規制社会実験、情報発信の仕組みづくりに向けた準備支援を実施した。 | — | A | A | ●指標は、5年に一度公表される商業統計調査報告に基づき設定されているが、次回の公表はH24年度時点の調査がH25年度中に公表されることになっているため、現時点での達成率は不明である。 ●商業振興モデル地区基本計画の推進に係る具体的な事業を実施しており、進捗状況は計画通りである。 ●東京都緊急雇用創出事業を活用したため、市財は使用しておらず、効率性は高い。 |
| 25年度 | 681.6億円 | ↓ | 0 | 商業振興モデル地区基本計画に基づき、商店街自らが実施する事業を後方支援する。 | 650億円 | 0 | 商店街が国・都などの補助金を申請する際の手助けや、後援名義の使用、広報活動の援助等後方支援を実施した。 | B | A | A | ●平成24年経済センサス活動調査の指標結果は650億円であり、指標を下回っているが、事業は実施している。 ●商業振興モデル地区基本計画の推進に係る、商店街による具体的な事業実施について、必要な後方支援(後援申請等)を実施した。 ●市財は使用しておらず、商店会の活力により計画を推進している。 |
| 26年度 | 681.6億円 | ↓ | 0 | 商業振興モデル地区基本計画に基づき、商店街自らが実施する事業を後方支援する。 | 650億円 | 0 | 商店街が国・都などの補助金を申請する際の手助けや、後援名義の使用、広報活動の援助等後方支援を実施した。 | B | A | A | ●平成24年経済センサス活動調査の指標結果は650億円であり、指標を下回っているが、事業は実施している。 ●商業振興モデル地区基本計画の推進に係る、商店街による具体的な事業実施について、必要な後方支援(後援申請等)を実施した。 ●市財は使用しておらず、商店会の活力により計画を推進している。 |
| 27年度 | 681.6億円 | ↓ | 0 | 商業振興モデル地区基本計画に基づき、商店街自らが実施する事業を後方支援する。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開/課題 | | | | | | | | |
| | | ○ 現状維持 | 平成23年に商業振興モデル地区計画を策定し、平成24年度には具定的な事業を実施し、主な事業としては一定終了したと考える。平成25年度以降は、商店街が自ら商業振興モデル地区基本計画の推進に係る具体的な事業を実施することとしており、市の立場としては、商店街が国・都などの補助金を申請する際の手助けや、後援名義の使用、広報活動の援助等後方支援を実施している。27年度以降についても、本取組については商店会の自主性を尊重し、市としては引き続き必要な後方支援を実施していく方針から、現状維持とした。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 魅力ある商業・商店街づくりの推進 | B10-33 | 総括担当 |
| 施策分野 | 商業 | B-10 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図るとともに、市民ニーズに対応した個性ある商店街を目指し、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりによるにぎわいの創出を目指す。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-----------------------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 黄金井名物マップの整備(コミュニティポータルサイト内) | 黄金井名物市への来客数 | 指 標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | C | C | C | C | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-----------------------------|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 黄金井名物マップの整備(コミュニティポータルサイト内) | — | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

黄金井名物マップの作成については、コミュニティポータルサイト設置が実施されないことから、今後についても作成は見送る方向性であると考えます。

現在は、市の産業振興プランの推進室である商工会産業振興プラン推進室「黄金井の里」ホームページで小金井の一店逸品紹介を実施しており、そちらで魅力ある商業づくりに貢献しているところである。

また、主な事業として設定されている事業ではないが、新・元気を出せ！商店街活性化事業により、商店街の施設整備やイベント開催が行われ、魅力ある商店街づくりの推進に貢献している。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 市の産業振興プラン推進室である「黄金井の里」のホームページでは、市民の方と連携して市内のおすすめ商品やお店等を宣伝していく取組を行っている。また、ツイッターやフェイスブック等も活用するなど、新サービスの拡充に努めている。 |
| 26年度評価(C) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | コミュニティポータルサイトが未整備な点等については、ソーシャル・ネットワーキング・サービスなど新たな情報発信手段が普及してきたこと、また、「黄金井の里」のホームページでの実績があることから、その必要性も含めて関係各課と協議をし、その動向に合わせた調整・施策展開の見直しの必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | |
|------|---------------------------------|-----------|------------|---------------------------------|---|-----------------|--|
| 施策 | 魅力ある商業・商店街づくりの推進 | B10-33 | 成果活動指標 | 黄金井名物市への来客数 | 重点プロジェクト | まちなにぎわい創出プロジェクト | |
| 基本事業 | 新サービスの拡充 | B10-33086 | 事業概要 | 目的(何のために) | 新たなサービスを提供することにより商店街を利用しやすくし、商店街の利用客を増やす。 | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | インターネットを使った商店街マップや買物情報の提供を支援する。 | | | |
| 主な事業 | 黄金井名物マップの整備 (コミュニティポータルサイト内) | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|---------------|--------|--|---|--------|---------|-----------------------------------|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 2,000人 | 検討 | 0 | 黄金井名物マップ整備に向けた検討を行う。 | 5,000人 | 0 | コミュニティポータルサイトが設置されていないため、取組ができない。 | A | C | B | ●指標以上の来客があった。 ●コミュニティポータルサイト設置の見通しが立っていないため、黄金井名物マップは検討に入ることができない状況にある。 ●事業が進捗しないため、効率性は評価できない。 |
| 24年度 | 2,200人 | 実施 | 0 | 黄金井名物マップをコミュニティポータルサイト内に整備する。整備に向けた検討を行う。 | 3,500人 | 0 | コミュニティポータルサイトが設置されていないため、取組ができない。 | A | C | B | ●指標以上の来客があった。 ●コミュニティポータルサイト設置の見通しが立っていないため、黄金井名物マップは検討に入ることができない状況にある。 ●事業が進捗しないため、効率性は評価できない。 |
| 25年度 | 2,200人 | 充実 | 0 | 黄金井名物マップに掲載している情報の拡充を行う。 | 5,800人 | 0 | コミュニティポータルサイトが設置されていないため、取組ができない。 | A | C | B | ●指標以上の来客があった。 ●コミュニティポータルサイト設置の見通しが立っていないため、黄金井名物マップは検討に入ることができない状況にある。 ●事業が進捗しないため、効率性は評価できない。 |
| 26年度 | 2,400人 | ↓ | 0 | 黄金井名物マップに掲載している情報の拡充を行う。 | 9,500人 | 0 | コミュニティポータルサイトが設置されていないため、取組ができない。 | A | C | B | ●指標以上の来客があった。 ●コミュニティポータルサイト設置の見通しが立っていないため、黄金井名物マップは検討に入ることができない状況にある。 ●事業が進捗しないため、効率性は評価できない。 |
| 27年度 | 2,400人 | ↓ | 0 | 黄金井名物マップに掲載している情報の拡充を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開/課題 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | 黄金井名物市実行委員会の努力により黄金井名物市の来客数は増加しており、指標は達成している。 | | | | | | | | |
| | | 改善 | ただし、黄金井名物マップの作成については、コミュニティポータルサイト設置が実施されないことから、今後についても作成は見送る方向性であるとする。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | 現在は、市の産業振興プランの推進室である商工会産業振興プラン推進室「黄金井の里」ホームページで小金井の一品逸品紹介を実施しており、そちらで魅力ある商業づくりに貢献しているところである。 | | | | | | | | |
| | | ○完了・中止 | また、主な事業として設定されている事業ではないが、新・元気を出せ！商店街活性化事業により、商店街の施設整備やイベント開催が行われ、魅力ある商店街づくりの推進に貢献している。 | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 地域商業の育成・支援 | B10-34 | 総括担当 |
| 施策分野 | 商業 | B10 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図るとともに、市民ニーズに対応した個性ある商店街を目指し、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりによるにぎわいの創出を目指す。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-------------------|------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 黄金井あきないカレッジの開校と充実 | 黄金井あきないカレッジの参加者数 | 指 標 | C | C | C | C | |
| | | 事業進捗 | C | C | C | C | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-------------------|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 黄金井あきないカレッジの開校と充実 | | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

平成13年度から15年度にかけて市で実施した経緯のある黄金井あきないカレッジであるが、その後の開校については具体的な検討が出来ていない状況である。

商業者向けの講座については、若手に限ったものではないものの、東京都中小企業振興公社による商人大学校や商工会によるセミナー等もあることから、市が主催で講座を行う必要性は低くなってきているものと考えている。

地域商業の育成・支援といった施策の達成のために、今後も引き続き商工会等の関係団体と連携しながら、市として必要な支援方法の検討及び推進を図っていく必要がある。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| C | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 他の実施主体によりセミナー等が開催されていることから、市主催で講座を行うことの必要性を検討するとともに、市として必要な育成方法・支援方法を検討する必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|-------------------|-----------|------------|---|-------------------------|-----|
| 施策 | 地域商業の育成・支援 | B10-34 | 成果活動指標 | 黄金井あきないカレッジの参加者数 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 事業者の育成 | B10-34087 | 事業概要 | 目的(何のために) | 魅力ある商店街づくりを担う人材育成を実施する。 | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 若手事業者、後継者等の青年層や、市内創業予定者等を対象に、公開連続講座を実施する。 | | |
| 主な事業 | 黄金井あきないカレッジの開校と充実 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|-------|---|----------------------------|--------|---------|---|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | - | 検討 | 0 | 黄金井あきないカレッジの開校について検討する。 | 0 | 0 | 黄金井あきないカレッジの開校について、具体的な検討には至らなかった。 | C | C | B | ●黄金井あきないカレッジを開校していないため、現時点での成果は不明である。 ●具体的な検討を実施できなかった。 ●具体的な事業実施をしていないため、経費削減の余地はない。 |
| 24年度 | - | 実施 | 0 | 黄金井あきないカレッジを開校し、連続講座を実施する。 | 0 | 0 | 黄金井あきないカレッジが開校できず、連続講座を実施することが出来なかった。 | C | C | B | ●黄金井あきないカレッジを開校していないため、現時点での成果は不明である。 ●具体的な検討を実施できなかった。 ●具体的な事業実施をしていないため、経費削減の余地はない。 |
| 25年度 | - | 充実 | 0 | 黄金井あきないカレッジの連続講座の充実を図る。 | 0 | 0 | 黄金井あきないカレッジを開校できていないため、連続講座の充実を図ることが出来なかった。 | C | C | B | ●黄金井あきないカレッジを開校していないため、現時点での成果は不明である。 ●具体的な検討を実施できなかった。 ●具体的な事業実施をしていないため、経費削減の余地はない。 |
| 26年度 | - | ↓ | 0 | 黄金井あきないカレッジの連続講座の充実を図る。 | 0 | 0 | 黄金井あきないカレッジを開校できていないため、連続講座の充実を図ることが出来なかった。 | C | C | B | ●黄金井あきないカレッジを開校していないため、成果は不明である。 ●他団体にて開催されている講座等もあることから、市が主催での「あきないカレッジ」を実施しなかった。 ●具体的な事業実施をしていないため、経費削減の余地はない。 |
| 27年度 | 40人 | ↓ | 0 | 黄金井あきないカレッジの連続講座の充実を図る。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開/課題 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | 平成13年度から15年度にかけて市で実施した経緯のある黄金井あきないカレッジであるが、その後の開校については具体的な検討が出来ていない状況である。 | | | | | | | | |
| | ○ | 改善 | 事業者向けの講座については、若手に限ったものではないものの、東京都中小企業振興公社による商人大学校や商工会によるセミナー等もあることから、市が主催で講座を行う必要性は低くなってきているものと考えている。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | 魅力ある商業・商店街づくりのため、若手事業者の育成のために、今後も引き続き商工会等の関係団体と連携しながら、必要な支援の検討及び推進を図っていく必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | よって、中止に近い意味での改善という評価結果とした。 | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--------------------------------------|--------|------|
| 施策名 | 地域資源をいかした観光の推進 | B10-35 | 総括担当 |
| 施策分野 | 商業 | B10 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 地域の魅力を発信し、魅力あるイベントや地域資源をいかした観光を推進する。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|------------------------------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 桜まつりなどの充実 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい | 桜まつりなどの来場者数 | 指標 | C | B | B | B | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | A | A | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|------------------------------------|------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 桜まつりなどの充実 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい | 観光振興に要する経費 | 経済課 | 4,192 | 5,744 | 8,371 | 8,330 | 8,684 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源をいかした観光の推進に係る施策を実現するため、小金井市観光協会や小金井阿波おどり振興協議会へ補助金を交付し、着実に成果を上げているが、平成26年度お月見のつどいは、荒天により2日のうち1日間は中止、桜まつりは、降雨の影響により来場者数が伸びなかった。 ・平成25年度から観光協会において、新規事業としてまちなか案内人運営・観光パンフレット作成配布・観光案内所運営を実施し、一定の成果を上げている。 ・平成26年度は観光協会HP上にフェイスブック機能を追加し、一部リニューアルも行うなど、イベント等の周知に向けて積極的な改善を行っているところである。 ・イベントの実施は、来街者の誘致に大きな役割を担っているため、今後も内容の充実や周知を更に力を入れていく必要があると考える。 |
|---|

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 桜まつり等のイベント以外にも、観光協会ホームページ上にフェイスブック機能を追加するなど、イベント等の周知に向けて積極的な改善を実施している。 |
| 26年度評価(B) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 桜まつりなどの来場者数は、天候等により数値が大きく変化するものであるが、指標の達成に向けてイベント内容の充実や周知に対し、更なる工夫等を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | |
|------------|----------------|------------------------------------|-------------|--------------------------------------|--|------------------|--|--|
| 施策 | 地域資源をいかした観光の推進 | B10-35 | 成果活動指標 | 桜まつりなどの来場者数 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい | 重点プロジェクト | まちなのにぎわい創出プロジェクト | | |
| 基本事業 | 魅力あるイベントの推進 | B10-35090 | 事業概要 | 目的(何のために) | 魅力あるイベントの推進により来街者を増やし、更なるまちの賑わいを創出し、産業の振興を図る。 | | | |
| | 主な事業 | 桜まつりなどの充実 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい | | 実施方法(何をするか) | 誰もが楽しめ、自然に親しめる桜まつりやお月見のつどいなどの観光イベントを支援し、市内の回遊につなげ、地域経済の活性化に取り組む。 | | | |
| 関連する法令・計画等 | | | 小金井市産業振興プラン | 担当課 | 経済課 | | | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|--------------|-------|--|---|--------|---------|---|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 400千人 | 充実 | 6,333 | 桜まつり、四季の観光写真展、阿波おどり大会、お月見のつどいの開催に係る支援を行う。 | 66千人 | 4,192 | 補助金の交付や市報掲載など、桜まつりなどの開催に係る支援を行った。 | C | A | B | ●東日本大震災の被災により桜まつりが中止になったため、指標を大きく下回った。 ●不測の事態により桜まつりは中止となったが、中止直前まで支援を実施した。 ●補助金の交付及び後援等名義使用により支援を行っており、補助金の交付額については毎年見直しを行っているが、今年度は見直す余地がなかった。 |
| 24年度 | 420千人 | ↓ | 5,810 | 桜まつり、四季の観光写真展、阿波おどり大会、お月見のつどいの開催に係る支援を行う。 | 319千人 | 5,744 | 補助金の交付や市報掲載など、桜まつりなどの開催に係る支援を行った。 | B | A | A | ●桜まつり及び阿波おどりは天候がよかったため盛況であったが、お月見のつどいは雨天だったため、例年に比べ来場者が大幅に少なかった。 ●桜まつり、阿波おどり、お月見のつどいの開催の支援をした。 ●補助金の交付及び市報掲載等広報活動の支援により支援を行っている。補助金の交付額については毎年見直しを行っており、今年度はごみの持ち帰りによる減量を行い、廃棄物処理費用を減少させた。 |
| 25年度 | 440千人 | ↓ | 8,665 | 桜まつり、四季の観光写真展、阿波おどり大会、お月見のつどいの開催に係る支援を行う。 | 126千人 | 8,371 | 補助金の交付や市報掲載など、各種イベント等の開催に係る支援を行った。また、観光協会における新規事業実施の支援を行った。 | B | A | A | ●観光協会が実施する桜まつりは開花状況及び天候に恵まれず、来場者が大幅に減少したため、指標結果に影響を及ぼしている。 ●観光協会の新規事業としてまちなか案内人運営・観光パンフレット作成配布・観光案内所運営を実施した。 ●経済課・黄金井の里・観光協会の運営体制等を見直すことにより、観光協会における新規事業費を捻出し、効率的に支援を行うことができた。 |
| 26年度 | 460千人 | ↓ | 8,659 | 観光協会が実施する桜まつり・四季の観光写真展・お月見のつどい・まちなか案内人運営・観光パンフレット作成配布・観光案内所運営及び阿波おどり振興協議会が実施する阿波おどり大会の開催に係る支援を行う。 | 221千人 | 8,330 | 補助金の交付や市報掲載など、各種イベント等の開催に係る支援を行った。また、観光協会における平成25年度から実施している新規事業実施の支援を引き続き行った。 | B | A | A | ●観光協会が実施する桜まつり・お月見のつどいは、天候等に恵まれず、来場者が伸びなかったため、指標結果に影響を及ぼしている。 ●観光協会では、引き続きまちなか案内人運営・観光パンフレット作成配布・ホームページの充実などを積極的に実施した。 ●平成25年度に経済課・黄金井の里・観光協会の運営体制等を見直したことにより捻出された観光協会の新規事業費も起動に乗り、効率的に支援を行うことができた。 |
| 27年度 | 480千人 | ↓ | 8,684 | 観光協会が実施する桜まつり・四季の観光写真展・お月見のつどい・まちなか案内人運営・観光パンフレット作成配布・観光案内所運営及び阿波おどり振興協議会が実施する阿波おどり大会の開催に係る支援を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開 桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどいは、天候の影響等により来場者数の増減があることから、努力だけでは指標の達成が難しい。インターネットなどを活用して、知名度が低い地域に向けてもPR活動を行うため、観光協会のHPのリニューアルやフェイスブック機能を追加した。 ○課題 イベント来場者数の一層の増加を図るため、更なる内容の充実やPRが求められている。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|------|
| 施策名 | 工業の振興 | B11-36 | 総括担当 |
| 施策分野 | 工業 | B11 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 小規模な工場が住宅地に混在している状況を踏まえ、住環境との調和に配慮しつつ、大学連携型起業家育成支援施設を拠点とした産学官連携の取組などにより、経営及び高度技術化を支援し、地域産業のPRや地域との交流推進を図る。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|---------------|----------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| ふれあい工業イベントの実施 | 1事業者当たりの製造品出荷額 | 指 標 | — | A | C | B | |
| | | 事業進捗 | — | A | A | A | |
| | | 効率性 | — | A | A | A | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|---------------|----------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ふれあい工業イベントの実施 | 商工振興に要する経費(一部) | 経済課 | — | 1,154 | 1,804 | 1,710 | 1,712 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

市が直接イベントを企画・実施するのではなく、より工業系事業者との関係に近い団体のイベント等を支援することで、地域産業のPRや地域との交流推進を図る取組を推進している。

具体的には、商工会により、「青少年のための科学の祭典」出展によるPR、黄金井名物市での工業製品展示・販売、市内建設事業者紹介のHP作成、更には商工会工業部会、黄金井の里と東京工学院専門学校で立ち上げた「黄金井ものづくり委員会」によるダンボールを題材にしたものづくり体験も実施しており、市はそれらの事業に補助をするかたちで支援している。

今後も引き続き、商工会をはじめとした様々な団体と連携を図りながら、地域産業のPRに努めていく。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| B | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 市民協働、公民連携を基本として、商工会をはじめとした様々な団体と連携を図りながら、地域産業のPR方法等について検討し、地域産業を学ぶ機会の増大や体験活動の充実、産業情報の提供など、広報活動を積極的に進められたい。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|---------------|-----------|------------|--------------------------------------|----------------|------------|
| 施策 | 工業の振興 | B11-36 | 成果活動指標 | 1事業者当たりの製造品出荷額 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 地域産業のPR | B11-36093 | 事業概要 | 目的(何のために) | 地域産業の認知度向上のため。 | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 地域産業を学ぶ機会の増大や体験活動の充実、市民向け産業情報の提供等の推進 | | |
| 主な事業 | ふれあい工業イベントの実施 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市産業振興プラン | | 担当課 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|-----------|------|--|---------------------------------|-----------|---------|--|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | 3億2,200万円 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 取組前であるため、特段の進捗はない。 |
| 24年度 | 3億2,200万円 | 検討 | 1,200 | ふれあい工業イベントの実施や、各種PRの方法について検討する。 | 4億6,100万円 | 1,154 | 以下の取組に対し、市は補助金交付の間接補助を行った。 ・「青少年のための科学の祭典」に小金井市商工会が出展し、地域産業のPRを行った。 ・黄金井名物市で市内工業製品の展示・販売を行った。 ・市の産業振興プランを推進する商工会組織「黄金井の里」において、工業関係の事業所の情報収集を行い、セールスポイント等をHPで発信した。 | A | A | A | ●指標は達成している。 ●各団体で、工業やものづくりをPRする取組を実施した。(市は補助金を交付するかたちで間接的に関与した。) ●各団体と連携しながら効果・効率的な運営を図っている。 |
| 25年度 | 3億2,200万円 | 実施 | 1,760 | ふれあい工業イベント及び各種PRを実施する。 | 1億5,200万円 | 1,804 | 以下の取組に対し、市は補助金交付の間接補助を行った。 ・「青少年のための科学の祭典」に小金井市商工会が出展し、地域産業のPRを行った。 ・市の産業振興プランを推進する商工会組織「黄金井の里」において、工業関係の事業所の情報収集を行い、セールスポイント等をHPで発信した。また、事業所PR用の紹介映像を製作し、武蔵野産業フェスタ等イベントで活用した。 ・黄金井の里、商工会工業部会、東京工学院専門学校が連携し、ものづくりを支援する「黄金井ものづくり委員会」を立ち上げ、ダンボールを使った玩具のアイデア募集コンテストを実施した。 ・黄金井名物市で市内工業製品の展示・販売を行った。 ・商工会において、市内建設業者を掲載した「住まいのガイド」を作成し、市内に配付した。 | C | A | A | ●指標よりも数値が低い結果となった。ただし、東京都総務局で実施している統計の計算方法が従来と異なるため(23年度、24年度と異なり、1~3人事業所を数に含んで計算している)、一概に成果が図れない点が難点である。 ●各団体で、工業やものづくりをPRする取組を実施した。(市は補助金を交付するかたちで間接的に関与した。) ●各団体と連携しながら効果・効率的な運営を図っている。 |
| 26年度 | 3億2,200万円 | 充実 | 1,760 | ふれあい工業イベント及び各種PRの充実を図る。 | 3億1,100万円 | 1,710 | 以下の取組に対し、市は補助金交付の間接補助を行った。 ・「青少年のための科学の祭典」に小金井市商工会が出展し、地域産業のPRを行った。 ・市の産業振興プランを推進する商工会組織「黄金井の里」において、「黄金井ものづくり委員会」で募集したダンボールを使ったアイデア製品「ダンボール機関車」の試作品づくり支援や、市民まつり等でものづくり体験を実施した。武蔵野産業フェスタ等でもキットを展示することで、活動及び製品化に向けたPR活動を行った。 ・商工会内組織である黄金井名物市実行員会主催の黄金井名物市において、市内工業製品の展示・販売を行った。 ・商工会において、昨年度作成した、市内建設業者を掲載した「住まいのガイド」の情報をホームページとして作成し、パソコンやスマートフォンから検索できるシステムを構築した。 | B | A | A | ●数値は指標よりも下回っているが、計画どおり進捗している。 ●各団体で、工業やものづくりをPRする取組を実施した。(市は補助金を交付するかたちで間接的に関与した。) ●各団体と連携しながら効果・効率的な運営を図っている。 |
| 27年度 | 3億2,200万円 | ↓ | 1,712 | ふれあい工業イベント及び各種PRの充実を図る。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 市が直接イベントを企画・実施することは、人的資源や予算の関係上難しいものとする。 現在は、商工会により、「青少年のための科学の祭典」出展によるPR、黄金井名物市での工業製品展示・販売、市内建設事業者紹介のHP作成、更には商工会工業部会、黄金井の里と東京工学院専門学校で立ち上げた「黄金井ものづくり委員会」によるダンボールを題材にしたものづくり体験も実施しており、市はそれらの事業に補助をするかたちで支援している。 今後も引き続き、商工会をはじめとした様々な団体と連携を図りながら、地域産業のPRに努めていく。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------------|
| 施策名 | 農業基盤の確立 | B12-37 | 総括担当 |
| 施策分野 | 農業 | B12 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 農地が減少しないように保全するとともに、担い手の育成や、認定・認証農業者制度を推進するなどにより、農業経営の安定化支援に努める。また、農作物直売所を整備し、地場産農作物の産業化に努め、地場産品の流通を促進する。 | | 関連課 経済課 |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|----------------|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 認定農業者の育成・支援の充実 | 経営耕作面積 | 指標 | B | B | B | B | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | A | A | A | B | |
| 農産物直売所の整備 | - | 指標 | - | - | - | - | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | A | A | A | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|----------------|--------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 認定農業者の育成・支援の充実 | 農業振興対策に要する経費 | 経済課 | 2,500 | 2,500 | 17,456 | 14,952 | 3,000 |
| 農産物直売所の整備 | - | 経済課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

| |
|--|
| <p>●認定農業者の育成・支援の充実において、平成23年度から平成26年度までの間に認定農業者数は増加傾向にあり、多くの認定農業者に補助事業を実施している。また、成果指標である農地の経営耕地面積は減少面積を少なくするように努めた。今後も認定農業者制度を普及推進することにより、持続的かつ安定的な農業経営に寄与し、経営耕地面積維持に努めていきたい。</p> <p>●農産物直売所の整備において、市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップ、期間限定で設置した農産物直売所等で新鮮な地場産農産物を供給することができている。現状を維持しつつ、今後も関係団体と協力して共同直売所やアンテナショップの整備について検討していきたい。</p> |
|--|

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップ、期間限定で設置した農産物直売所等により、市民に対し新鮮な地場産農産物を供給することができている。 |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 平成23年度から平成26年度までの間に認定農業者数は増加傾向にあるものの、指標である経営耕作面積は増加していない。経営耕作面積の減少を抑えるために担い手の育成や認定・認証農業者に対して支援を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | |
|------|------------------|-----------|------------|--|---|-----------------|-----|
| 施策 | 農業基盤の確立 | B12-37 | 成果活動指標 | 経営耕地面積 | 重点プロジェクト | まちのにぎわい創出プロジェクト | |
| 基本事業 | 農業経営の安定 | B12-37097 | 事業概要 | 目的(何のために) | 農業が市民生活の安定に寄与していくため、効率的・安定的な農業経営の改善計画を定めた認定・認証農業者の持続的かつ安定的な農業経営の確立を目指す。 | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 関係機関と連携し、経営改善計画の達成状況の把握及び必要な指導並びに再認定を推進するなどフォローアップ活動を行う。認定・認証農業者が行う農業経営改善計画の推進に要する経費(農業用施設整備事業、農業用機械等導入事業等)に対し、補助対象経費の2分の1(上限50万円)を補助する。都市農業経営パワーアップ事業実施要綱に基づき行う農業者の農業経営改善等に向けた取組を支援するため、改善のために実施する事業に対して補助する。 | | | |
| 主な事業 | 認定認証農業者の育成・支援の充実 | | 関連する法令・計画等 | ・農業経営基盤強化促進法 ・小金井市農業振興計画 ・小金井市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 ・小金井市認定・認証農業者農業経営改善計画支援補助金交付要綱 ・小金井市都市農業経営パワーアップ事業補助金交付要綱 | | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|---------------|-------|--|--|--|---------|--|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 8,506a | 充実 | 2,500 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行う。 | 8,413a (出展:東京都統計年鑑) 参考 小金井市固定資産概要調査 7,905a | 2,500 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行った。 | B | A | A | ○活動指標として掲げていた経営耕作面積について、面積の減少を最小限にすることができた。 ○認定・認証農業者へのフォローアップ及び農業経営改善計画を推進するための経費を補助したことで、持続的かつ安定的な農業経営に寄与できた。 ○経費については、認定・認証農業者と補助事業の内容を十分に協議し、限られた予算で最大の効果が得られるように努めた。 |
| 24年度 | 8,506a | ↓ | 2,500 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行う。 | 8,413a (出展:東京都統計年鑑) 参考 小金井市固定資産概要調査 7,650a | 2,500 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行った。 | B | A | A | ○活動指標として掲げていた経営耕作面積について、面積の減少を最小限にすることができた。 ○認定・認証農業者へのフォローアップ及び農業経営改善計画を推進するための経費を補助したことで、持続的かつ安定的な農業経営に寄与できた。 ○経費については、認定・認証農業者と補助事業の内容を十分に協議し、限られた予算で最大の効果が得られるように努めた。 |
| 25年度 | 8,506a | ↓ | 17,500 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行う。また、東京都の制度であるパワーアップ事業により農業経営改善等に向けた取組を支援するために実施する事業に対し、補助を行う。 | 8,413a (出展:東京都統計年鑑) 参考 小金井市固定資産概要調査 7,520a | 17,456 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行った。また、東京都の制度であるパワーアップ事業により農業経営改善等に向けた取組を支援するために実施する事業に対し、補助を行った。 | B | A | A | ○活動指標として掲げていた経営耕作面積について、面積の減少を最小限にすることができた。 ○認定・認証農業者へのフォローアップ及び農業経営改善計画を推進するための経費、農業経営改善等に向けた事業を補助したことで、持続的かつ安定的な農業経営に寄与できた。 ○経費については、東京都の制度であるパワーアップ事業を利用し、都から2分の1の補助を受け、経費縮減に努めた。 |
| 26年度 | 8,506a | ↓ | 13,750 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費、農業経営改善等に向けた取組を支援するために実施する事業に対し、補助を行う。 | 8,413a (出展:東京都統計年鑑) 参考 小金井市固定資産概要調査 7,393a | 14,952 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費に対し、補助を行った。また、東京都の制度であるパワーアップ事業により農業経営改善等に向けた取組を支援するために実施する事業に対し、補助を行った。 | B | A | B | ○活動指標として掲げていた経営耕作面積について、面積の減少を最小限にすることができた。 ○認定・認証農業者へのフォローアップ及び農業経営改善計画を推進するための経費、農業経営改善等に向けた事業を補助したことで、持続的かつ安定的な農業経営に寄与できた。 ○経費については、東京都の制度であるパワーアップ事業を利用し、都から2分の1の補助を受け、経費縮減に努めた。本年度は都の事業要綱改正に伴う対象事業費変更により、当初予算額以上の補助を実施することとなった。 |
| 27年度 | 8,506a | ↓ | 3,000 | 認定・認証農業者等が行う農業経営改善計画の達成状況の把握及び指導などフォローアップ活動を行い、その推進に係る経費、農業経営改善等に向けた取組を支援するために実施する事業に対し、補助を行う。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 活動指標として掲げている経営耕作面積については、相続税を納税するために一部の農地を手放さざるを得ず、このことが経営耕作面積の減少に影響している。今後も引き続き農業が市民生活の安定に寄与していくために、認定・認証農業者等に対して支援を行い、経営耕作面積の減少を最小限にすることが課題である。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | | | |
|------|-------------|-----------|------------|-----------------------------------|--|--|----------|-----------------|--|
| 施策 | 農業基盤の確立 | B12-37 | 成果活動指標 | — | | | 重点プロジェクト | まちのにぎわい創出プロジェクト | |
| 基本事業 | 農業拠点の整備 | B12-37099 | 事業概要 | 目的(何のために) | 農産物直売所を整備することにより、安全・安心な農産物の供給を図り、市民生活の向上と市内農業の振興発展に寄与する。 | | | | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 関係団体と協力し、農産物の共同直売所やアンテナショップを整備する。 | | | | | |
| 主な事業 | 農産物直売所の整備 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市農業振興計画 | | | 担当課 | 経済課 | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------|-------|---|--|--------|---------|--|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20- | 検討 | 0 | 関係団体と協力し、共同直売所やアンテナショップを整備する。 | - | 0 | 平成22年度には、東小金井駅南口でアンテナショップである黄金やが開店し、新鮮な農産物を供給することができた。平成23年度も関係団体と協力し、引き続き小金やで新鮮な農産物を供給し、JAの共同直売所や駅前的大型スーパーでは市内農産物生産団体が一部共同直売のスペースを設置し、市内の新鮮な農産物を供給することができた。 | - | A | A | ○市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップにより、市内各所で新鮮な農産物を供給できた。 ○アンテナショップ等を新たに設置したことにより、市民に対して新鮮な農産物を供給することができた。 ○経費については、関係機関と協力して整備を行い、経費削減に努めた。 |
| 24年度 | - | 整備 | 0 | 関係団体と協力し、共同直売所やアンテナショップを整備する。 | - | 0 | 関係団体と協力し、黄金や、JA及び大型スーパーの共同直売所において新鮮な農産物を供給することができた。 | - | A | A | ○市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップにより、市内各所で新鮮な農産物を供給できた。 ○市民に対して新鮮な農産物を供給することができた。 ○経費については、関係機関と協力して整備を行い、経費削減に努めた。 |
| 25年度 | - | | 0 | 関係団体と協力し、共同直売所やアンテナショップを整備する。 | - | 0 | 黄金や、JA及び大型スーパーの共同直売所において新鮮な農産物を供給することができた。また、JAの支店においても毎月曜日を限定した共同直売所を設け、新鮮な農産物を供給することができた。 | - | A | A | ○市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップにより、市内各所で新鮮な農産物を供給できた。 ○新たな共同直売所を設けたことで、市民に対して新鮮な農産物を供給することができた。 ○経費については、関係機関と協力して整備を行い、経費削減に努めた。 |
| 26年度 | - | | 0 | 関係団体と協力し、新たな共同直売所やアンテナショップの整備について検討する。 | - | 0 | 黄金や、JA及び大型スーパーの共同直売所において新鮮な農産物を供給することができた。また、JAによる東小金井駅高架下期間限定農産物直売所設置事業に対して後援を実施した。 | - | A | A | ○市内庭先販売所、共同直売所、アンテナショップにより、市内各所で新鮮な農産物を供給できた。 ○新たな共同直売所を設けたことで、市民に対して新鮮な農産物を供給することができた。 ○経費については、関係機関と協力して整備を行い、経費削減に努めた。 |
| 27年度 | - | | 0 | 関係団体と協力し、新たな共同直売所やアンテナショップの整備について検討する。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | | 推進 | ○展開/課題 市民からの要望等を考慮しながら、関係団体と協力し、新たな共同直売所やアンテナショップの整備について検討を行う。 | | | | | | | | |
| | ○ | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

※平成23年度から平成25年度までの評価(指標)を修正しました。

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 農業との交流促進 | B12-38 | 総括担当 |
| 施策分野 | 農業 | B12 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 農地が増えないように保全するとともに、農業者と市民やNPOなどが協働で仕組み作りを進め、担い手の育成や、認定認証農業者制度を推進するなどにより、農業経営の安定化支援に努める。また、農作物直売所を整備し、江戸東京野菜など地場産農作物の産業化に努め、地場産品の流通を促進するとともに、農業者や農業団体・市民の協力により、食育の支援やふれあい農業の充実を図る。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|--------------|--------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 市民農園・体験農園の拡充 | 市民農園・体験農園の面積 | 指標 | A | A | A | A | |
| | | 事業進捗 | B | A | B | B | |
| | | 効率性 | A | A | A | A | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|--------------|----------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 市民農園・体験農園の拡充 | 市民農園に要する経費(一部) | 経済課 | 0 | 3,938 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

- 主な事業である市民農園・体験農園の拡充において、平成24年度には平成27年度までの目標指標に達しており、施策の推進は概ね順調である。
- ふれあい農業の育成・充実という点において、市民農園・体験農園の拡充は必須であり、拡充することで多くの市民が気軽に農作業体験ができ、施策の推進に寄与している。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|---|
| 評価 | (特記意見) 市民農園・体験農園の拡充により、多くの市民が気軽に農作業体験が可能となるなど、農業との交流促進に寄与している。 |
| B | |
| 26年度評価(A) | (課題) 平成26年度限りで市民農園のうち1か所が閉園することから、平成27年度は指標を下回る見込みであり、閉園した農園に代わる新たな農園の候補地について、市民からの要望等を考慮しながら、検討する必要がある。 |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|--------------|-----------|------------|---|--|------------|
| 施策 | 農業との交流促進 | B12-38 | 成果活動指標 | 市民農園・体験農園の面積 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | ふれあい農業の育成 | B12-38100 | 事業概要 | 目的(何のために) | 市民が農業にふれ合える場を提供し、生産、収穫の喜びを味わい、また、市民相互の交流を図ることを目的とする。市民にとっての農業体験の場を確保するとともに、地域農業に対する理解を深め、良好な農地の保全を図ることを目的とした体験型市民農園の管理運営を支援する。 | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 市民農園については、区画貸し(2年間)で料金は4,800円/年。抽選を行い入園者を決めている。体験型市民農園管理運営費補助金を交付する。(1年間1区画当たり10,000円) ・たかはしファーム 600,000円(60区画分) ・ベルファーム 300,000円(30区画分) | | |
| 主な事業 | 市民農園・体験農園の拡充 | | 関連する法令・計画等 | 小金井市農業振興計画 小金井市市民農園条例 小金井市体験型市民農園推進事業補助金交付要綱 | | 担当課 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|---------------|-------|---|--|---------|---------|---|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 8,840㎡ | 推進 | 0 | 平成22年度に市民農園1農園が閉園したため、新たな農園の候補地を検討、決定し、平成23年度内に新たな市民農園を開園する。 | 10,306㎡ | 0 | 平成23年度内の開園に向けて調整し、新たな農園の候補地は決定したが、予算の関係上、年度内に開園することはできなかった。 | A | B | A | ○市民農園・体験型農園の活動指標として掲げていた面積を大きく上回った。 ○平成23年度内に新たな市民農園を開園できるよう調整していたが、開園までには至らなかった。 ○経費については、区画の移設や除草などを指導員と協力して行い、必要最小限に留めるよう努めた。 |
| 24年度 | 9,280㎡ | ↓ | 3,990 | 決定した農園候補地の年度内開園に向けて準備を進める。 | 11,064㎡ | 3,938 | 平成23年度から新たな市民農園開園の調整をしてきたこともあり、平成24年8月1日に開園することができた。 | A | A | A | ○市民農園・体験型農園の活動指標として掲げていた面積を大きく上回った。 ○平成24年度内に新たな市民農園を開園することができた。 ○経費については、新たな市民農園を開園するに当たり、トイレを設置しないなど必要最小限に留めるよう努めた。 |
| 25年度 | 9,720㎡ | ↓ | 0 | 新たな市民農園・体験農園の開園について検討する。 | 10,989㎡ | 0 | 新たな市民農園・体験農園の開園について新たな候補地を検討した。 | A | B | A | ○市民農園・体験型農園の活動指標として掲げていた面積を大きく上回った。 ○市民農園・体験農園の新たな候補地を検討したが、候補地は見つからなかった。 ○経費については、区画の移設や除草などを指導員と協力して行い、必要最小限に留めるよう努めた。 |
| 26年度 | 10,160㎡ | ↓ | 0 | 新たな市民農園・体験農園の開園について検討する。 | 10,989㎡ | 0 | 新たな市民農園・体験農園の開園について新たな候補地を検討した。 | A | B | A | ○市民農園・体験型農園の活動指標として掲げていた面積を上回った。 ○市民農園・体験農園の新たな候補地を検討したが、候補地は見つからなかった。 ○経費については、区画の移設及び除草や枝木の伐採などを指導員と協力して行い、必要最小限に留めるよう努めた。 |
| 27年度 | 10,600㎡ | ↓ | 0 | 新たな市民農園・体験農園の開園について検討する。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 平成24年度には平成27年度までの成果活動指標を達成したが、平成26年度限りで市民農園のうち1箇所が閉園することになり、平成27年度は指標を下回る見込である。閉園した農園に代わる、新たな農園の候補地を確保するため、市内農家を対象とした座談会等で周知し、候補地を確保する。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 安全安心な消費生活支援 | B13-39 | 総括担当 |
| 施策分野 | 消費生活相談の充実 | B13 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 安全・安心な消費生活を支援するため、市民の消費生活意識の向上と正しい知識の普及及び情報提供を進めるとともに、関係団体との連携により、相談事業の充実を図ります。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-----------|--|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 消費生活相談の拡充 | 消費者講座や出前講座の参加者や消費者団体連絡協議会と共催で行う消費者生活展など参加者の増大。 | 指 標 | A | B | B | B | |
| | | 事業進捗 | A | B | A | A | |
| | | 効率性 | A | A | A | A | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-----------|-----------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 消費生活相談の拡充 | 消費者対策に要する経費(一部) | 経済課 | 5,209 | 4,301 | 4,811 | 4,345 | 5,314 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

・消費者被害に遭われやすい高齢者に対しどのような注意喚起をしていくのが重要と考えている。同時に、インターネット、携帯電話・通信アプリ等の普及から若年者の消費者被害が増大しているため、小中学生のための消費者スクール等を教育委員会の協力を得ながら市内の学校で実施し、注意喚起に努めていきたい。

・高齢者に対しては、地域包括支援センターやヘルパーとの情報交換や連携、若年者に対しては、市内各大学との情報交換等を行い、市主催の講座や消費者団体連絡協議会と共催で開催する消費者ルームまつり、消費者団体で構成される実行委員会で開催される消費生活展などでも消費者被害に遭わないための注意喚起と契約等において不安に感じたこと、被害にあってしまったときに速やかに消費生活相談室に連絡してしてもらうためのPRをより一層強めていきたい。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| B | 中学生のための消費者スクールにおいて、相談員を講師とし、市内の実例を交えた内容で開催するなど、若年者の消費者被害削減に向けた取組を実施している。 |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 被害に遭わないよう自立した消費者の育成のために講座等を効果的に実施し、啓発活動を積極的に行うとともに、消費生活相談室の周知を積極的に行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|--------------|-----------|------------|--|---|-----|
| 施策 | 安全・安心な消費生活支援 | B13-39 | 成果活動指標 | 消費者啓発活動への参加人数 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 消費生活相談の充実 | B13-39104 | 事業概要 | 目的(何のために) | 自立した消費者の育成を推進し、消費者被害の未然防止に努めるとともに消費生活に係わる疑問やトラブルの解決に対応する。 | |
| | 実施方法(何をするか) | | | 消費者被害の未然防止のための情報発信や講座の開催、消費生活相談室のPRを積極的に行なう。 | | |
| 主な事業 | 消費者相談の拡充 | | 関連する法令・計画等 | 消費者教育の推進に関する法律 | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|---------------|------|--|---|--------|---------|---|----|-----------|-----|---|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 | |
| 23年度 | H20 2,008人 | 拡充 | 5,467 | 消費者団体連絡協議会と連携して市民の消費生活に関する情報及び意見を収集するとともに国民生活センターの相談情報システム(パイオネット)を活用して複雑・多様化する消費生活相談の対応を強化・充実を図る。 | 2,197人 | 5,209 | 福島原発事故の影響で放射能測定事業に関連する業務が通常業務にも支障が出るほど増大したが消費者団体連絡協議会の協力もあり、一定のPR効果があった。また、消費者行政活性化基金を活用し、相談室の備品を購入して環境整備を行なった。 | A | A | A | ○消費者行政活性化交付金を有効に活用し消費生活相談室の環境整備を行なったことにより機能強化が図られた。 ○消費者講座、消費生活展など市民が集まる場で消費生活相談室のPR用グッズや消費生活相談事例集を配布し相談室のPRに努めた。 | |
| 24年度 | 2,100人 | 充実 | 4,320 | 消費者団体連絡協議会と連携して市民の消費生活に関する情報及び意見を収集するとともに国民生活センターの相談情報システム(パイオネット)を活用して複雑・多様化する消費生活相談の対応を強化・充実を図る。 | 1,908人 | 4,301 | 消費者行政活性化基金の活用できる金額が大きく減額となってしまった。各種講座や消費生活展開催時に消費者団体連絡協議会との連携で消費者相談室のPRグッズや消費生活事例集等の配布をし、PRに努めた。 | B | B | A | ○中学生のための消費者スクールを開催ができなかったため、若年者に向けた周知が十分ではなかった。 ○消費者講座、消費生活展など市民が集まる場で消費生活相談室のPR用グッズや消費生活相談事例集を配布し相談室のPRに努めた。 | |
| 25年度 | 2,200人 | ↓ | 4,216 | 各種講座の参加者や消費者団体連絡協議会と連携して市民の消費生活に関する情報及び意見を収集するとともに国民生活センターの相談情報システム(パイオネット)を活用して複雑・多様化する消費生活相談の対応を強化・充実を図る。 | 2,163人 | 4,811 | 消費者行政活性化基金を活用できるようになったので消費者被害の未然防止のため若年者用と高齢者用啓発冊子を購入。消費者団体連絡協議会と連携して各種講座、消費生活展など市民と接する機会に消費生活相談事例集とともに配布し、消費生活相談室のPRを行なった。 | B | A | A | ○中学生のための消費者スクールも従前の講座だけでなく、新たに相談員を講師にした市内の実例を交えた講座で消費生活相談室のPRを行なった。 ○消費者講座や消費生活展など市民が集まる場で消費生活相談室のPR用グッズや消費生活事例集を配布し周知に努めた。 | |
| 26年度 | 2,300人 | ↓ | 4,209 | 各種講座の参加者や消費者団体連絡協議会と連携して市民の消費生活に関する情報及び意見を収集するとともに国民生活センターの相談情報システム(パイオネット)を活用して複雑・多様化する消費生活相談の対応を強化・充実を図る。 | 2,160人 | 4,345 | 消費者行政活性化交付金を活用して、消費者被害の未然防止のため、若年者向けとして中学校で2校消費者スクールを開催。その他にもペン立て付きメモ帳を作成、消費者団体連絡協議会との連携で各種講座や消費生活展を実施、参加者に配布し消費生活相談室のPRを行った。 | B | A | A | ○中学生のための消費者スクールも相談員を講師に市内の実例を交えた内容でクラスごとと、学年を2分して開催することができ、学校の希望に併せて開催できるという実例ができた。 ○消費者講座や消費生活展など市民が集まる場で消費生活相談室のPR用グッズ(ペン立て付きメモ帳作成)や消費生活事例集を配布し周知に努めた。 ○消費者行政活性化交付金を活用し補正予算を組んで事業を拡大することができた。 | |
| 27年度 | 2,410人 | ↓ | 5,314 | 各種講座の参加者や消費者団体連絡協議会と連携して市民の消費生活に関する情報及び意見を収集するとともに国民生活センターの相談情報システム(パイオネット)を活用して複雑・多様化する消費生活相談の対応を強化・充実を図る。 | | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開 | | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | これからの消費者行政としては、全ての人が消費者被害に遭わないよう自立した消費者の育成が重要と考える。そのため、適切な講座等の開催と共に消費者被害に合わないような啓発活動を積極的に行なう。特に若いうちから消費者問題に関心を持ち消費者の権利や消費者被害に遭わないような意識を養うための第一段階としての消費者スクールなどを特化させて行っていきたい。また、消費者被害に遭ってしまったときや不安を感じたときにすぐに消費生活相談室にできるよう消費生活相談室のPRも積極的に行なう。 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | ○課題 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | 消費生活相談の充実は、誰もが消費生活相談室の存在を知っていて何かあればすぐに相談ができ、迅速・適切な対応がなされることであるため、複雑・多様化する相談内容に対応するため、今年度から1名増員された。相談員のレベルアップと都や国民生活センターとの協力連携や相談体制の強化がよりいっそう重要となっていく。 | | | | | | | | | |
| | 完了・中止 | | | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|---|--------|------|
| 施策名 | 勤労者福祉の向上 | B13-40 | 総括担当 |
| 施策分野 | 消費者生活・勤労者福祉 | B13 | 経済課 |
| 施策の方向性 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、福利厚生対策の充実と労働環境の向上を図る。 | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|-----------------------------|---------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| 勤労者福祉サービスセンター登録者向上キャンペーンの実施 | 勤労者福祉サービスセンター登録事業所数 | 指 標 | C | C | C | C | |
| | | 事業進捗 | C | C | C | C | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指 標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|-----------------------------|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 勤労者福祉サービスセンター登録者向上キャンペーンの実施 | 勤労者福祉に要する経費 | 経済課 | 14,549 | 13,873 | 13,879 | 13,265 | 13,280 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

勤労者福祉サービスセンターへ補助金を交付することにより、市内中小企業勤労者の福利厚生対策の充実に努めた。
サービスセンターでは、引き続き会員へのサービス向上や加入促進に注力したものの、景気の影響等により登録事業所数等は減少となった。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| C | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 景気の影響等により、市内の中小企業者の会員登録数は減少傾向にあるものの、市内中小企業勤労者の福利厚生向上のため、少人数の勧誘員でも可能な周知方法の検討等を行い、登録事業所数の増加へ向けた取組を行う必要がある。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | | |
|------------|-----------|----------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------------|--|--|
| 施策 | 勤労者福祉の向上 | B13-40 | 成果活動指標 | 勤労者福祉サービスセンター登録事業所数 | 重点プロジェクト | | |
| 基本事業 | 福利厚生対策の充実 | B13-40105 | 事業概要 | 目的(何のために) | 大企業と中小企業間の福利厚生面での格差解消等を目的 | | |
| | 主な事業 | 勤労者福祉サービスセンター登録向上キャンペーンの実施 | | 実施方法(何をするか) | 中小企業勤労者の総合的な福祉を増進 | | |
| 関連する法令・計画等 | | | 小金井市勤労者福祉サービスセンター補助金交付要綱 | 担当課 | 経済課 | | |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|--------------|-------|---------|---|--------|---------|--|-----------|------|-----|---|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 756か所 | 検討 | 14,914 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、センター加入促進について検討する。 | 714か所 | 14,549 | 勤労者福祉サービスセンター会員登録向上について検討した。 | C | C | B | 景気等の影響による会員登録者数の減少。補助金のため経費削減は難しい。勧誘員として補助職員を配置し、会員登録の促進に努めた。 |
| 24年度 | 794か所 | 実施 | 14,147 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、センター加入促進について実施する。 | 702か所 | 13,873 | 補助職員による登録勧誘活動の推進や新規会員紹介者に対する謝礼制度により会員登録の促進に努めた。 | C | C | B | 景気等の影響による会員登録者数の減少。補助金のため経費削減は難しい。勧誘員として補助職員を配置し、会員登録の促進に努めた。 |
| 25年度 | 832か所 | 充実 | 14,030 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、センター加入促進について充実を図る。 | 702か所 | 13,879 | 補助職員による登録勧誘活動の推進や新規会員紹介者に対する謝礼制度・新規加入者への記念品贈呈により会員登録の促進に努めた。 | C | C | B | 景気等の影響による会員登録者数の減少。補助金のため経費削減は難しい。勧誘員として補助職員を配置し、会員登録の促進に努めた。 |
| 26年度 | 872か所 | ↓ | 13,375 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、センター加入促進について充実を図る。 | 688か所 | 13,265 | 補助職員による登録勧誘活動の推進や新規会員紹介者に対する謝礼制度・新規加入者への記念品贈呈により会員登録の促進に努めた。 | C | C | B | 景気等の影響による会員登録者数の減少。補助金のため経費削減は難しい。勧誘員として補助職員を配置し、引き続き会員登録の促進に努めたが、会員数は減少となった。 |
| 27年度 | 910か所 | ↓ | 13,280 | 勤労者福祉サービスセンターを通じて、センター加入促進について充実を図る。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | | ○展開 会報紙の改良など会員へサービスや加入促進に力を入れているものの、景気の影響等により、市内の中小企業者の会員登録数は減少傾向。 ○課題 今後のセンターへの加入促進をどのように図るかは大きな課題である。組織の法人化の検討は進んでいない。 | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |

施策評価シート

1 施策の基本情報

| | | | |
|--------|--|--------|------|
| 施策名 | 雇用機会の拡大 | B14-41 | 総括担当 |
| 施策分野 | 雇用 | B14 | 経済課 |
| 施策の方向性 | インターネットを活用して地域の求人情報を提供するとともに、ハローワークをはじめとする関係機関との連携により相談体制など各種支援を充実し、就業機会の拡大を図る | 関連課 | |
| | | 経済課 | |

2 施策を構成する主な事業の評価（事務事業評価シートより）

| 事業名 | 成果活動指標 | 評価 | | | | | |
|--------------|----------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
| こがねい仕事ネットの充実 | こがねい仕事ネットの利用者数 | 指標 | A | B | B | B | |
| | | 事業進捗 | A | A | A | A | |
| | | 効率性 | B | B | B | B | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |
| | | 指標 | | | | | |
| | | 事業進捗 | | | | | |
| | | 効率性 | | | | | |

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

| 事業名 | 予算名称 | 担当課 | H23 (決算) | H24 (決算) | H25 (決算) | H26 (決算) | H27 (予算) |
|--------------|-------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| こがねい仕事ネットの充実 | 労働調査・啓発に要する経費(一部) | 経済課 | 809 | 809 | 809 | 832 | 832 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

4 一次評価

平成18年度にサイトを開設以来、リニューアルを行っていないことから、時代に合わせた運営を行えるようサイトのリニューアル等も検討すべき時期に来ている。
登録事業者は365事業所となり、繰り返し求人情報掲載を行う事業所が増えている。今後、更に求職者と事業者双方への周知に力を入れることで、利用の促進を図ることが求められている。

5 最終評価

| | |
|----------------------------------|--|
| 評価 | (特記意見) |
| B | |
| 26年度評価(-) | (課題) |
| A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり | 就業機会の拡大を図るため、こがねい仕事ネットのリニューアル等について検討するとともに、求職者と事業者双方への周知方法について検討し、利用の促進を図られたい。 |

事務事業評価シート

【基本情報】

| | | | | | | |
|------|---------|--------------|------------|----------------|---|-----|
| 施策 | 雇用機会の拡大 | B14-41 | 成果活動指標 | こがねい仕事ネットの利用者数 | 重点プロジェクト | |
| 基本事業 | 就労支援の充実 | B14-41107 | 事業概要 | 目的(何のために) | 求職者の就労支援推進・雇用の拡大 | |
| | 主な事業 | こがねい仕事ネットの充実 | | 実施方法(何をするか) | 就労支援サイトの運営により、市内外の事業者の求人情報を掲載し、市民等の就労支援を行う。 | |
| | | | 関連する法令・計画等 | | 担当課 | 経済課 |

【「主な事業」に対する評価等】

| | 計画(Plan) | | | | 実施(Do) | | | 評価(Check) | | | |
|----------------------|----------------|-------|--|--|---------|---------|--|-----------|------|-----|--|
| | 成果活動指標 | 事業進捗 | 予算額(千円) | 具体的取組内容 | 指標結果 | 決算額(千円) | 実施経過・結果 | 指標 | 事業進捗 | 効率性 | 評価の説明 |
| 23年度 | H20 58,730人 | 充実 | 809 | 市報等による積極的な宣伝により、求人情報の掲載や求人者の利用促進につなげる。 | 76,145人 | 809 | 市報等を活用した積極的な宣伝により、登録事業所の増加や求職者の利用促進を行った。 | A | A | B | 市報掲載等によりサイトの周知を図り、利用者の増加につながった。サイトの運営は全て委託事業で行っており、経費の削減を行うのは難しい。 |
| 24年度 | 61,500人 | ↓ | 809 | 市報等による積極的な宣伝により、求人情報の掲載や求人者の利用促進につなげる。 | 58,336人 | 809 | 市報等を活用した積極的な宣伝により、登録事業所の増加や求職者の利用促進を行った。 | B | A | B | 市報掲載等によりサイトの周知を図ったが、求人データ数が伸び悩み、利用者の大幅な増加にはつながらなかった。サイトの運営は全て委託事業で行っており、経費の削減を行うのは難しい。 |
| 25年度 | 64,500人 | ↓ | 809 | 市報等による積極的な宣伝により、求人情報の掲載や求人者の利用促進につなげる。 | 57,261人 | 809 | 市報等を活用した積極的な宣伝により、登録事業所の増加や求職者の利用促進を行った。 | B | A | B | 市報掲載等によりサイトの周知を図り、求人データ数が増えたが、利用者の増加にはつながらなかった。サイトの運営は全て委託事業で行っており、経費の削減を行うのは難しい。 |
| 26年度 | 67,500人 | ↓ | 832 | 市報等による積極的な宣伝により、求人情報の掲載や求人者の利用促進につなげる。 | 59,563人 | 832 | 市報等を活用した積極的な宣伝により、登録事業所の増加や求職者の利用促進を行った。 | B | A | B | 市報掲載等によりサイトの周知を図り、求人データ数が増えたが、利用者の増加にはつながらなかった。サイトの運営は全て委託事業で行っており、経費の削減を行うのは難しい。 |
| 27年度 | 70,500人 | ↓ | 832 | 市報等による積極的な宣伝により、求人情報の掲載や求人者の利用促進につなげる。 | | | | | | | |
| 評価を踏まえた今後の展開(Action) | ○ | 推進 | ○展開/課題 登録事業者も365事業所となり、繰り返し求人情報掲載を行う事業所も増えている。今後も求職者と事業者双方への周知に力を入れ、利用の促進を図る。 | | | | | | | | |
| | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| | | 改善 | ○課題 平成18年度にサイトを開設以来、リニューアルを行っていない。時代に合わせた運営を行えるようサイトのリニューアルも検討し、利用促進を図る。 | | | | | | | | |
| | | 縮小 | | | | | | | | | |
| | | 完了・中止 | | | | | | | | | |